



富士山遠望の景
松尾風流の景
懐放生會の景
海第四教の國
北嶽山の景
日光山の國
瀟湘八景の景
近江八景の景
駿武四景の景
内裏堂上方等地の國
京都の景
江戸方面の國
大坂の景

萬進物秩指國式
日籍書指德撰
年甲子事系指記
園藝作物國
鳥名所國
馬名所國
五世名顯字号
日女名
當世四季料記秋立
備旁符指字指
算江異系日陰
法成就日幸

書狀端他半止事
月服付下事
白狀撥事
万子龍沈文一案紙
万兒滿妙系集
和泰五十積儒
月假名翻決抄
五世帝名字假
月華押音函事
男女相生和刻事
比惡十惡事
笑一神方修事
大將軍格仍月事

大日本之國
御武家聖号國郡宅
禁裏御節會之圖
大坂五橋之墨
江戸日午橋之圖
諸武家之墨
馬具之圖
當流花紋方格抄
立花生花格抄
茶湯初指南抄
紫雲之墨
掛軸卷物法探之墨
左刀折紙目錄圖式
四方簪子園田御酒振
親數書漫振之幸

十幹十二支之圖
節用十二節分強
中興武將畧傳紀
御公家選
百官職掌之事
日八省之事
東百官名表
本朝年代紀
年表
華嚴寺院名寄
攝別寺院名寄
江戸寺院名寄
四庫用文章
文章類法要畧
封狀當名書下之事

孝侍命（下）方（下）幸
同胞衣細（下）者方（下）幸
侍（下）入日（下）幸
令（下）往（下）日（下）幸
破軍星（下）幸
不感（下）幸
瘟瘟日（下）幸
血忌日（下）幸
旅（下）幸
御改正服忌令
十二月（下）名
和記（下）幸
義籍（下）幸
世界（下）幸
琴瑟書畫（下）國

不盡峯

眺望於薩埵嶺圖

蒼々の
山々
不
二
乃
斷
人
や
金



速水春曉齋印

奥州松島之景色



倭節用悉改袋増字



土農王廟の
四民五帝を
守り我々
雨のおおく
が来くは
よくて身は
身を成さ
りて東洋の
勢を幸と
せんかり
人己とあり
て世をうけ
はるるは
万の心は
心すき
儉約を幸
素と省と
易と持と
があらうの
をへり

勤以治生



儉以足用



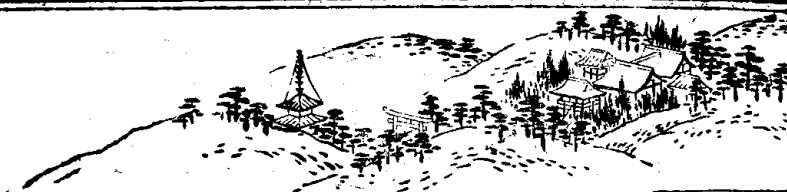
恭以待己

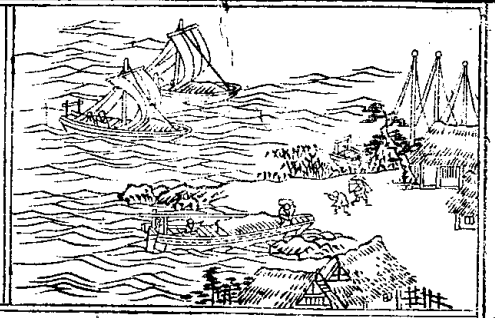


恕以待人



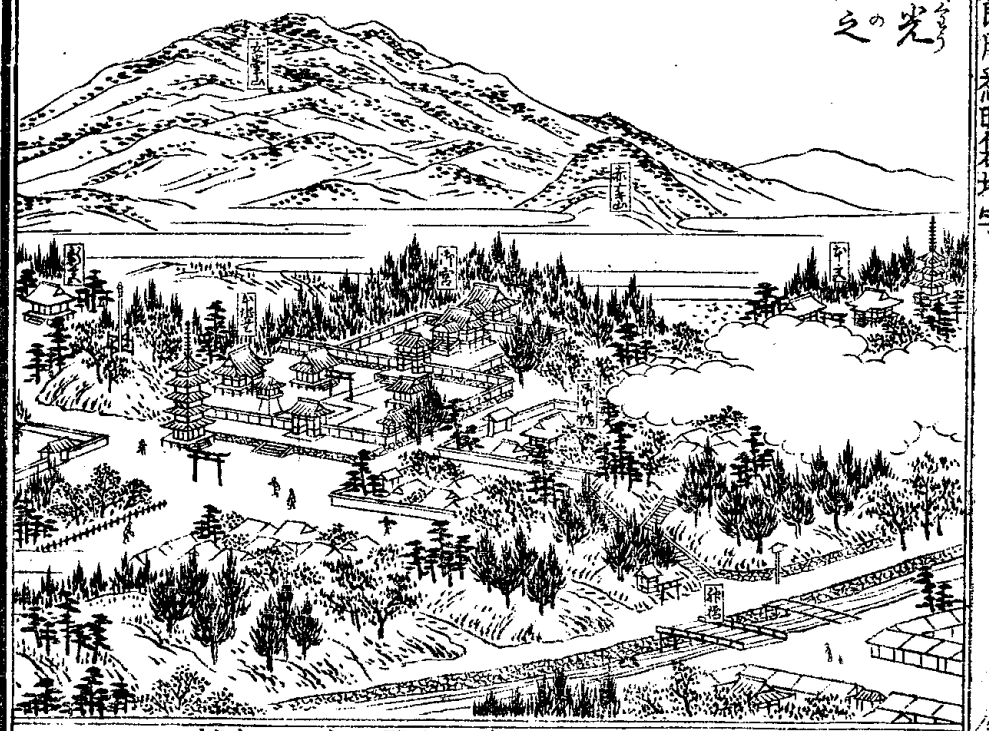
平賀の僧
外年目
動かし
茶田く
いふま
小己と
ひかに
あはれ
ゆは
へと
けを
和の
男と
のこ
まを
まを
候の
男の
のこ
の教



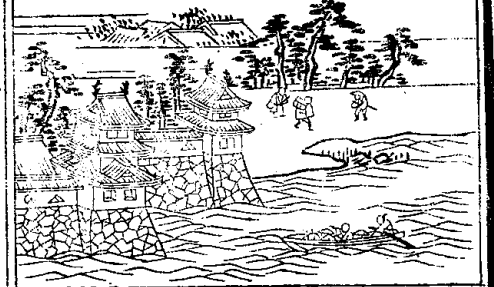
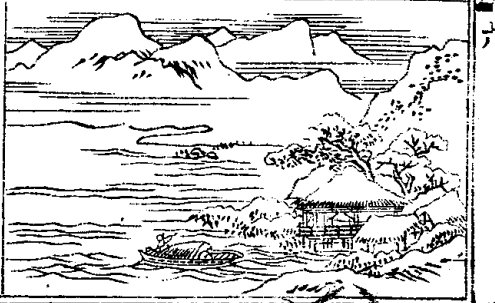


矢橋保帆
 釣竿手熟白頭翁
 幸若客取西又東
 羨客風帆昨去後
 只公學遠一盃中
 舟帆以去をまゝ
 あか
 うらみの波を
 舟の退風

日光の山々



江天暮雪
 雲深天低接玉露
 扁舟一葉寄吟身
 茶煙呼喚牧歌樽
 數星山隱素與人
 舟の暮り
 江のふさふさ
 中



鹿度棠津春魚長
 吹寒吹雨似相和
 山花所く一葉浪
 湖上雨晴夢也香
 舟のあふあふ



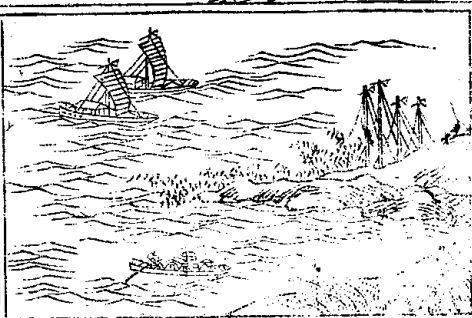
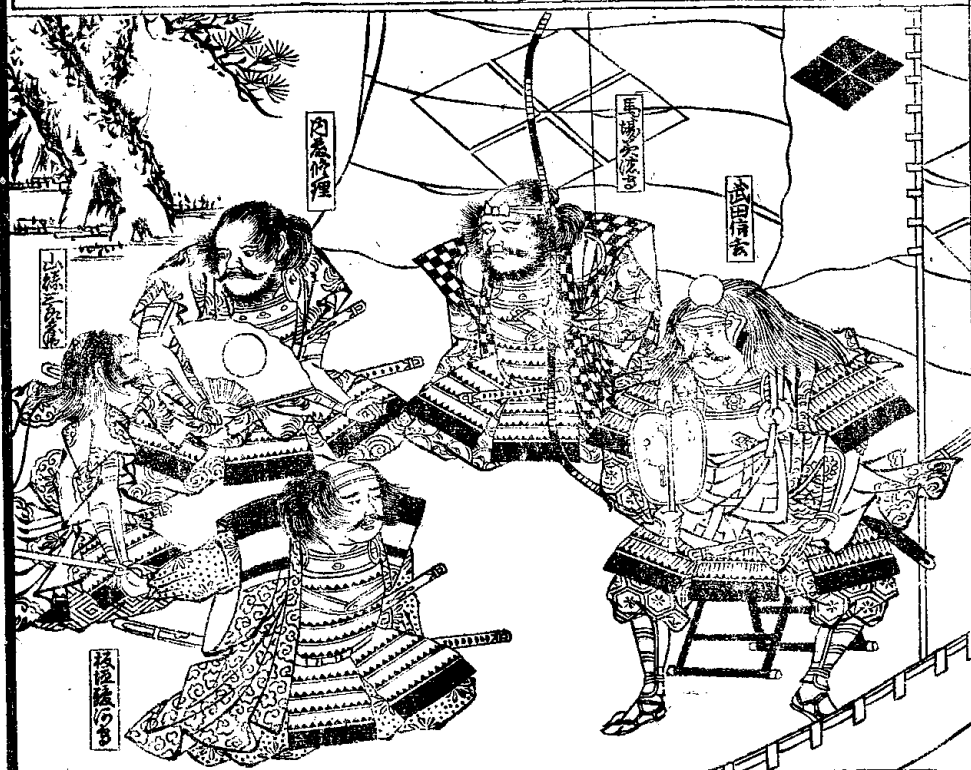
洞庭秋月
 西風帶出蒼天露
 万頃煙波浩桂花
 漁笛不知歸客恨
 吹寒吹雨似相和
 舟のあふあふ
 月
 舟は



勢回夕照
湖島風帆半夕陽
夕陽人新與橋長
勢回曝網東二月
一色に天あ系光
あふれやうふく
さあつ 夕日の下
勢回れそく



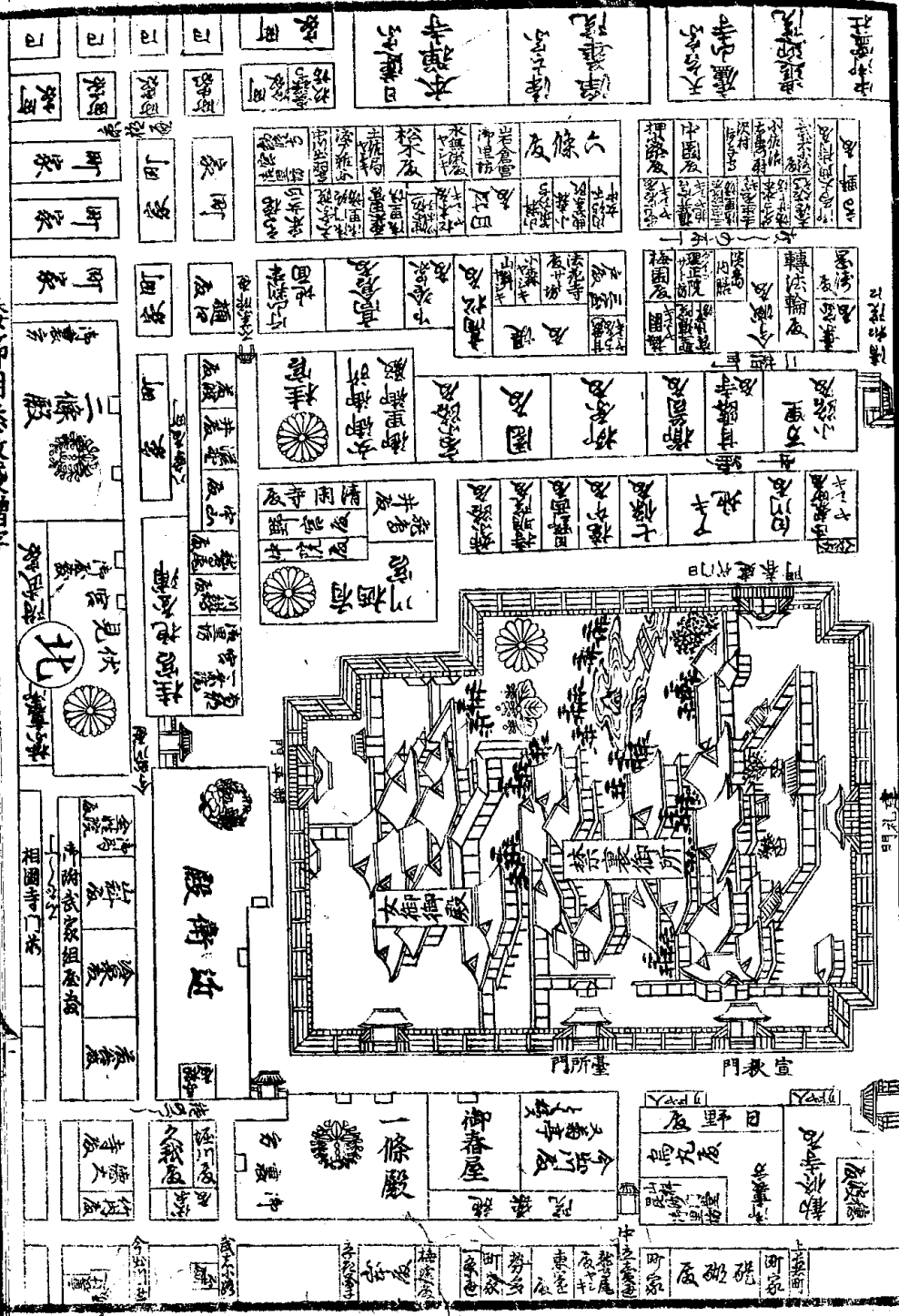
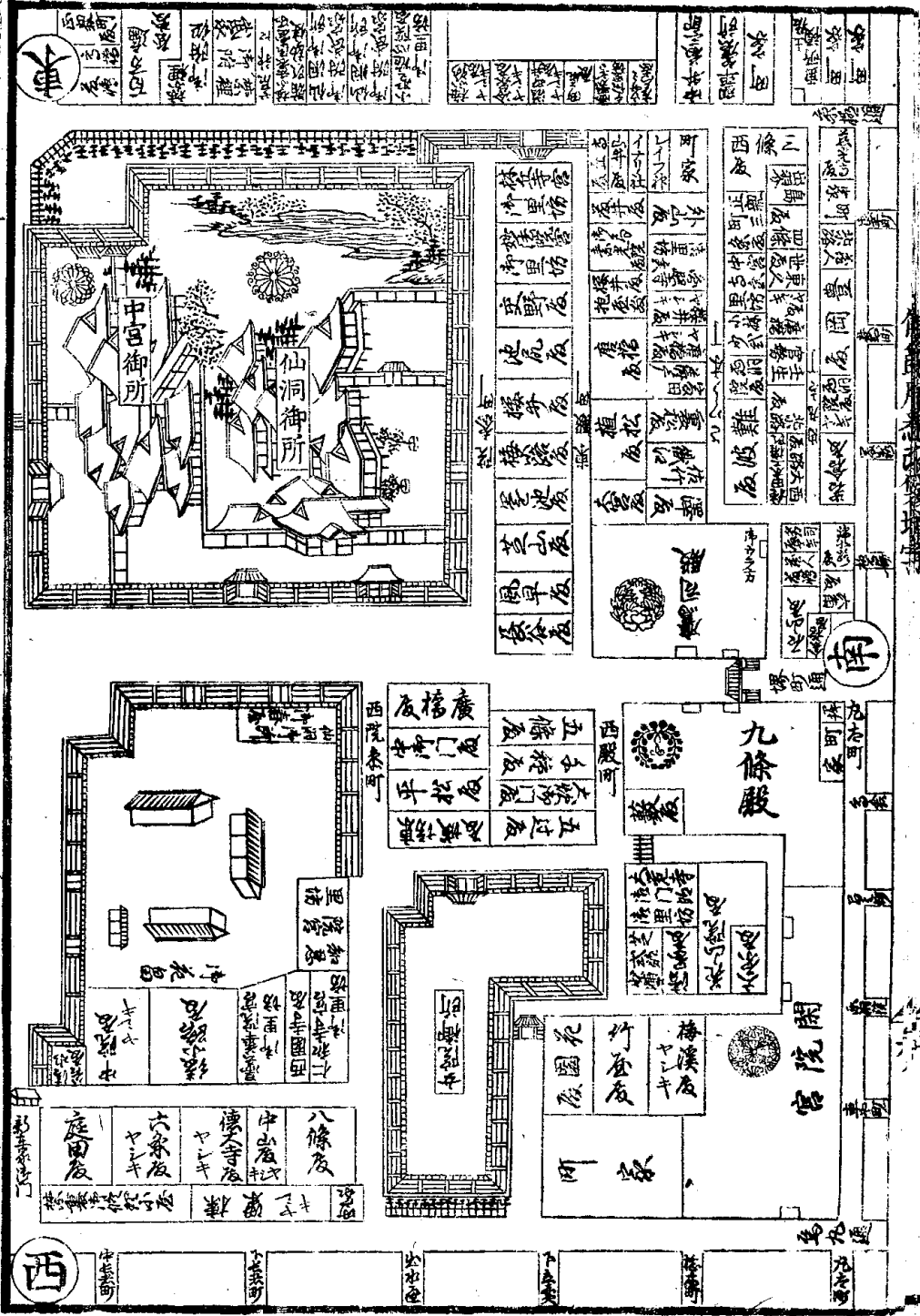
三井晩鐘
湖西脈脈盡不成
香線高き出園旅
夜間好是客船月
十倍楓橋夜夜
あふれやうふく
さあつ 夕日の下
勢回れそく

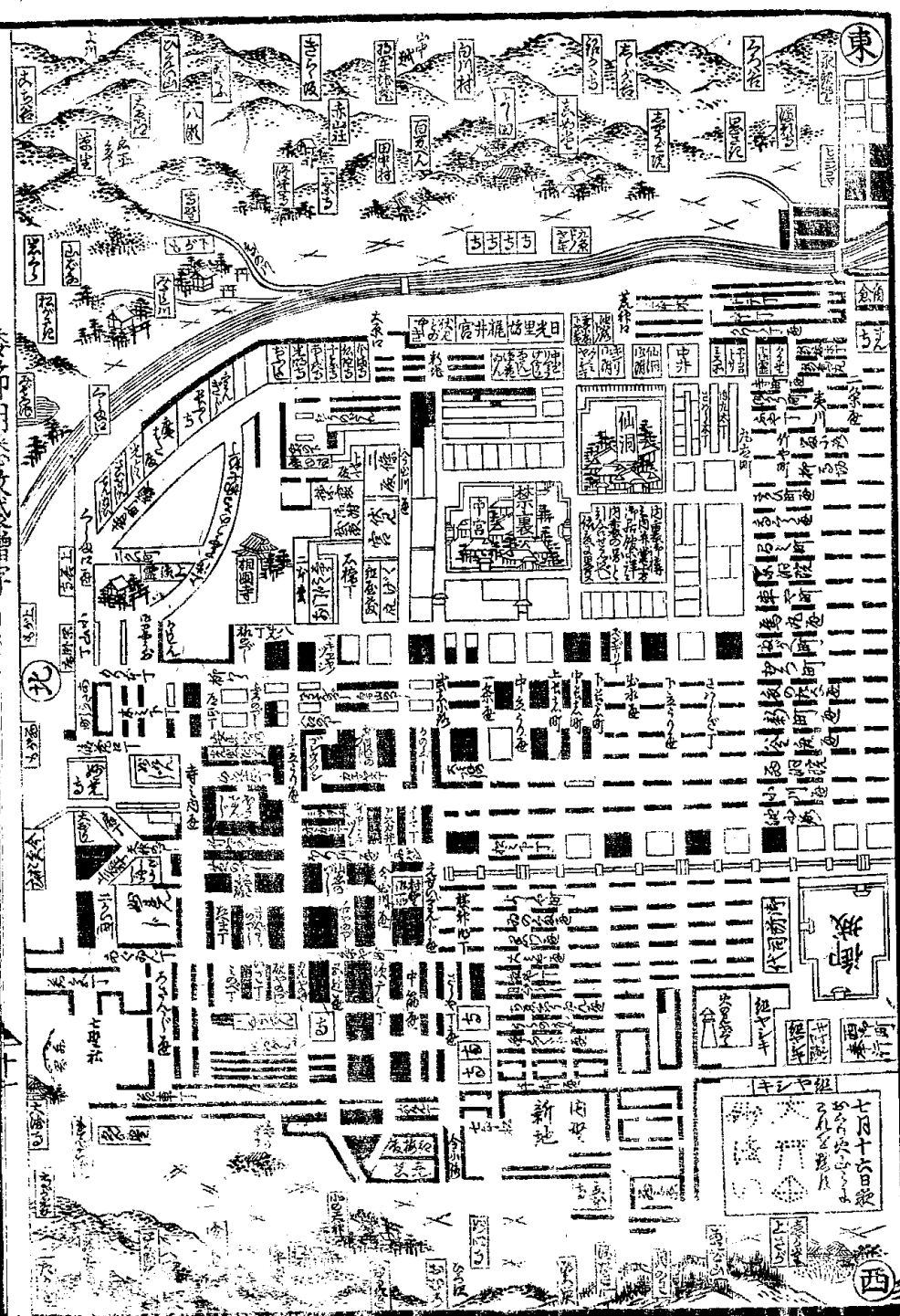
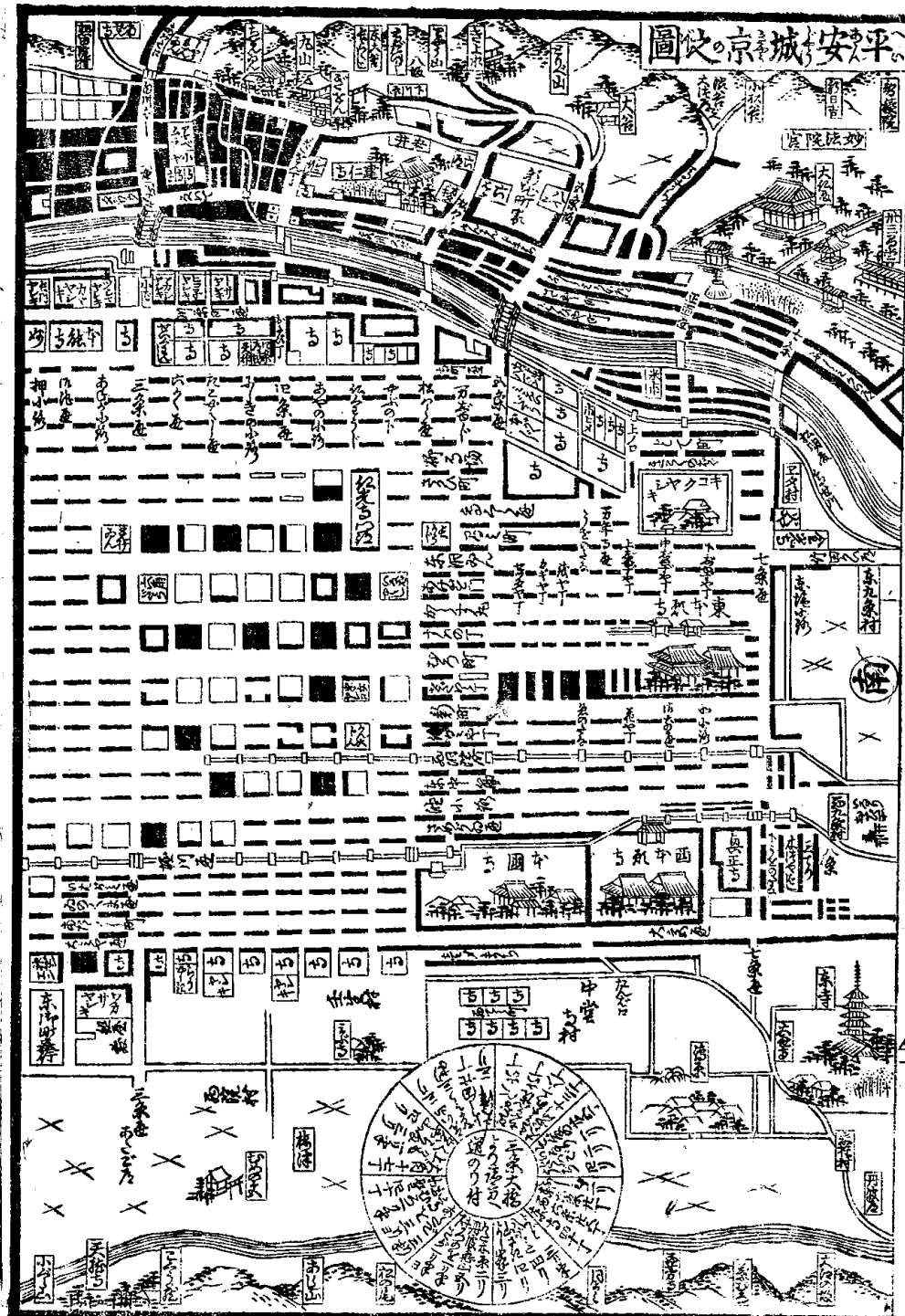


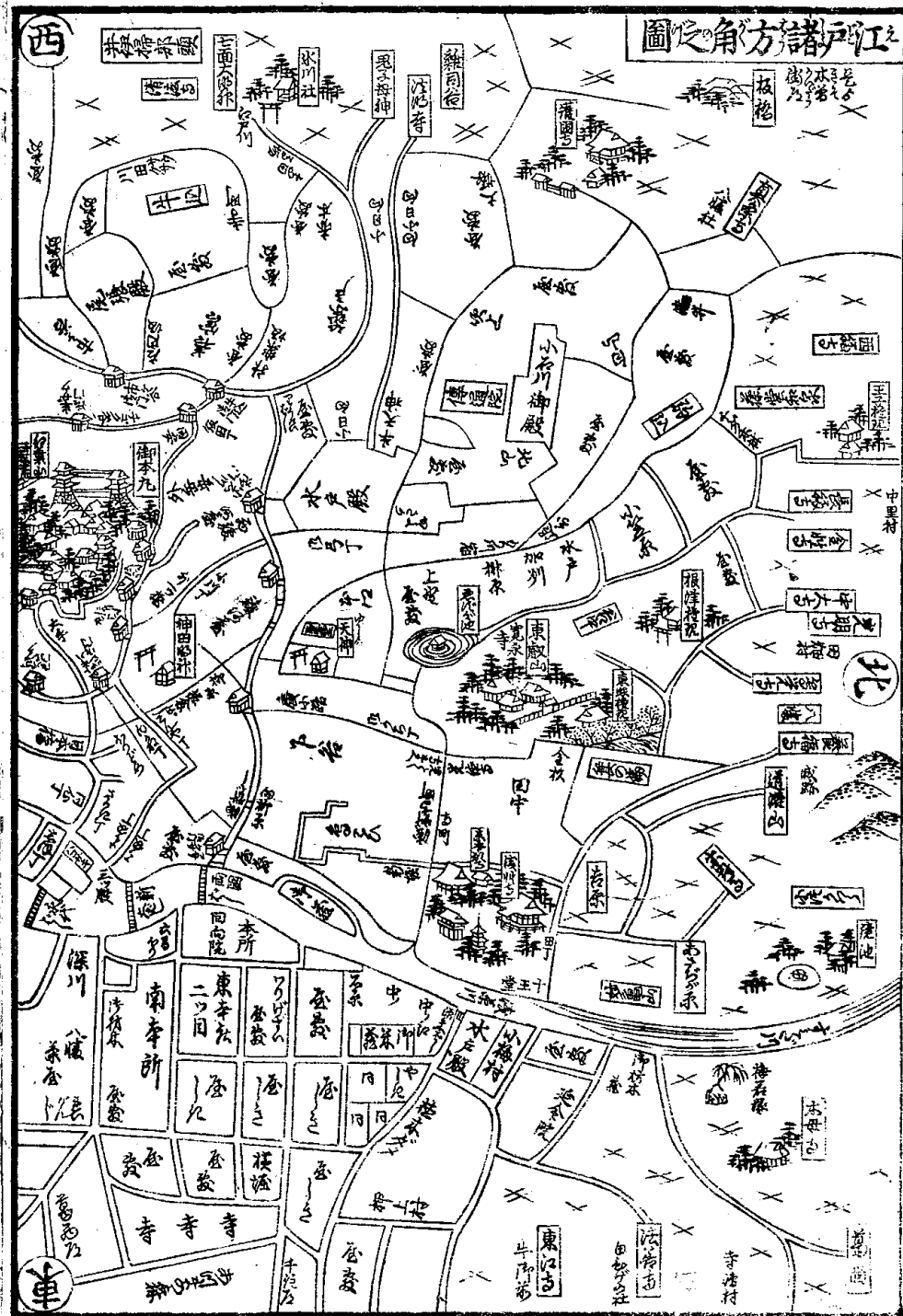
遠浦帰帆
鷺泉青く一林秋
湖平浪浪接天流
頃橋漸入蓋花去
家在夕陽江上頭
風はそよのうたは
約めふふふ
ふふふふふ



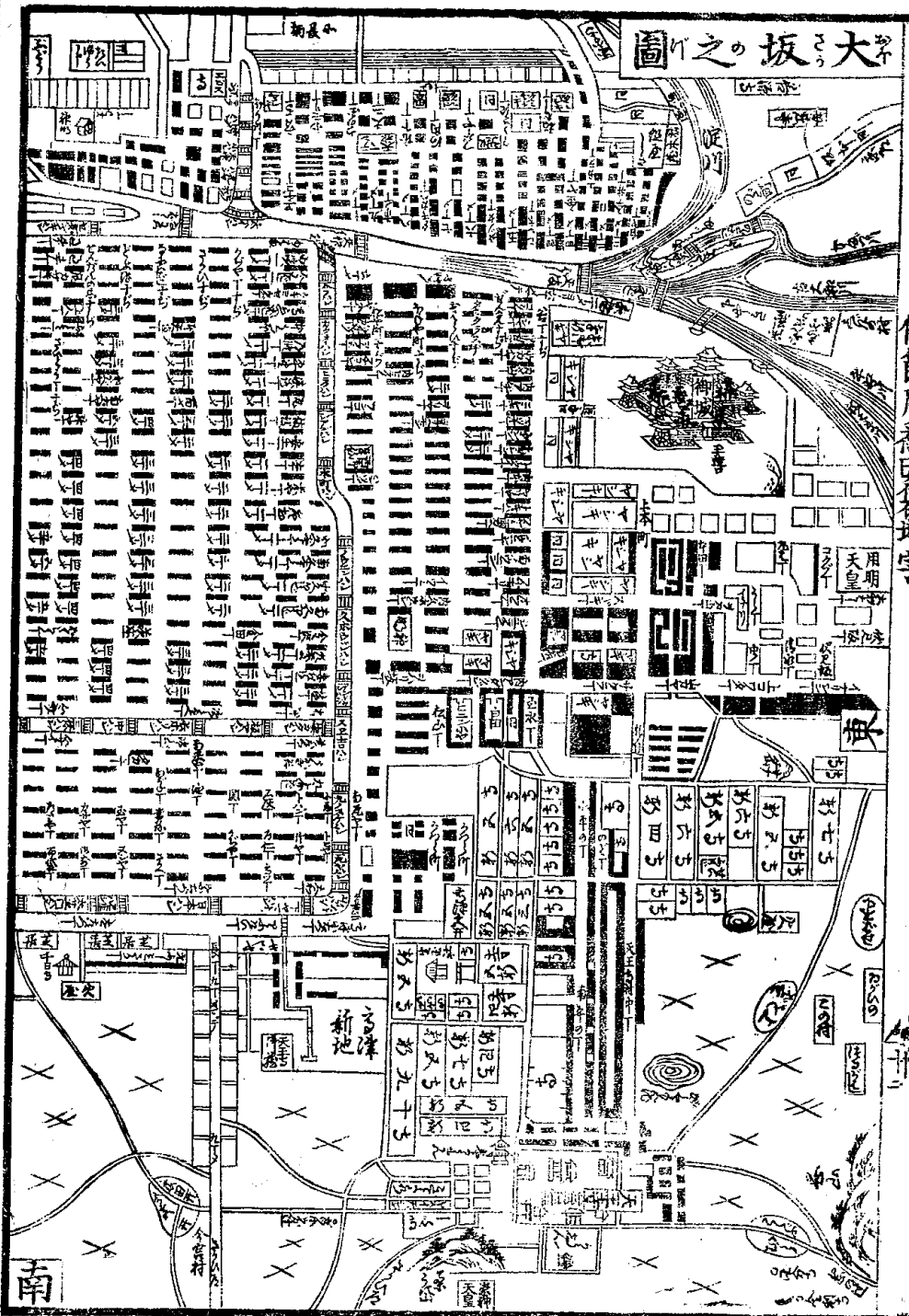
三井晩鐘
湖西脈脈盡不成
香線高き出園旅
夜間好是客船月
十倍楓橋夜夜
あふれやうふく
さあつ 夕日の下
勢回れそく





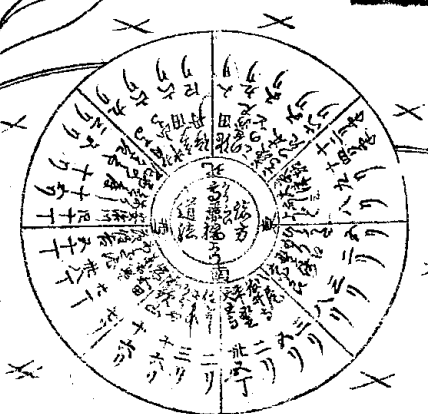
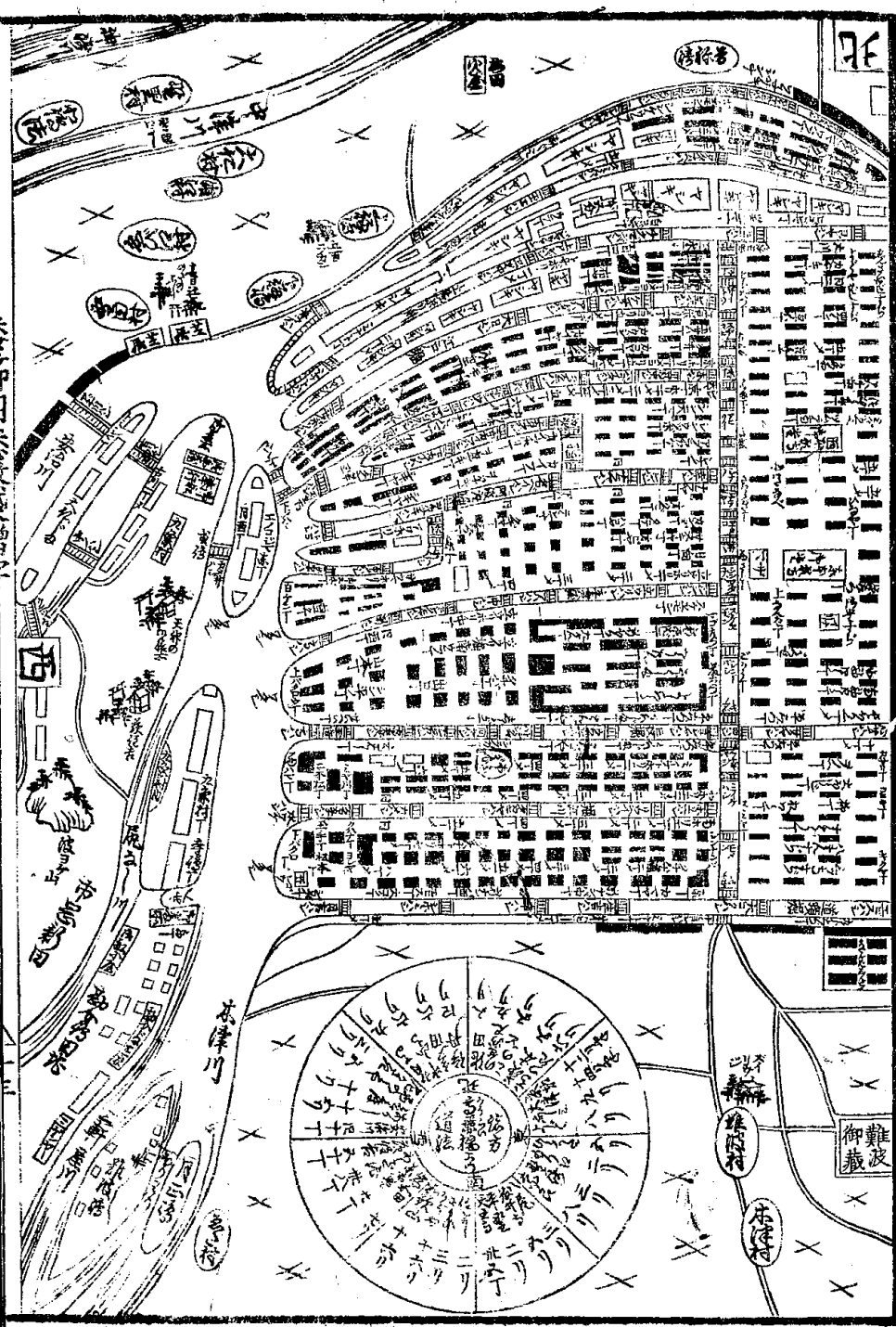


大坂之圖



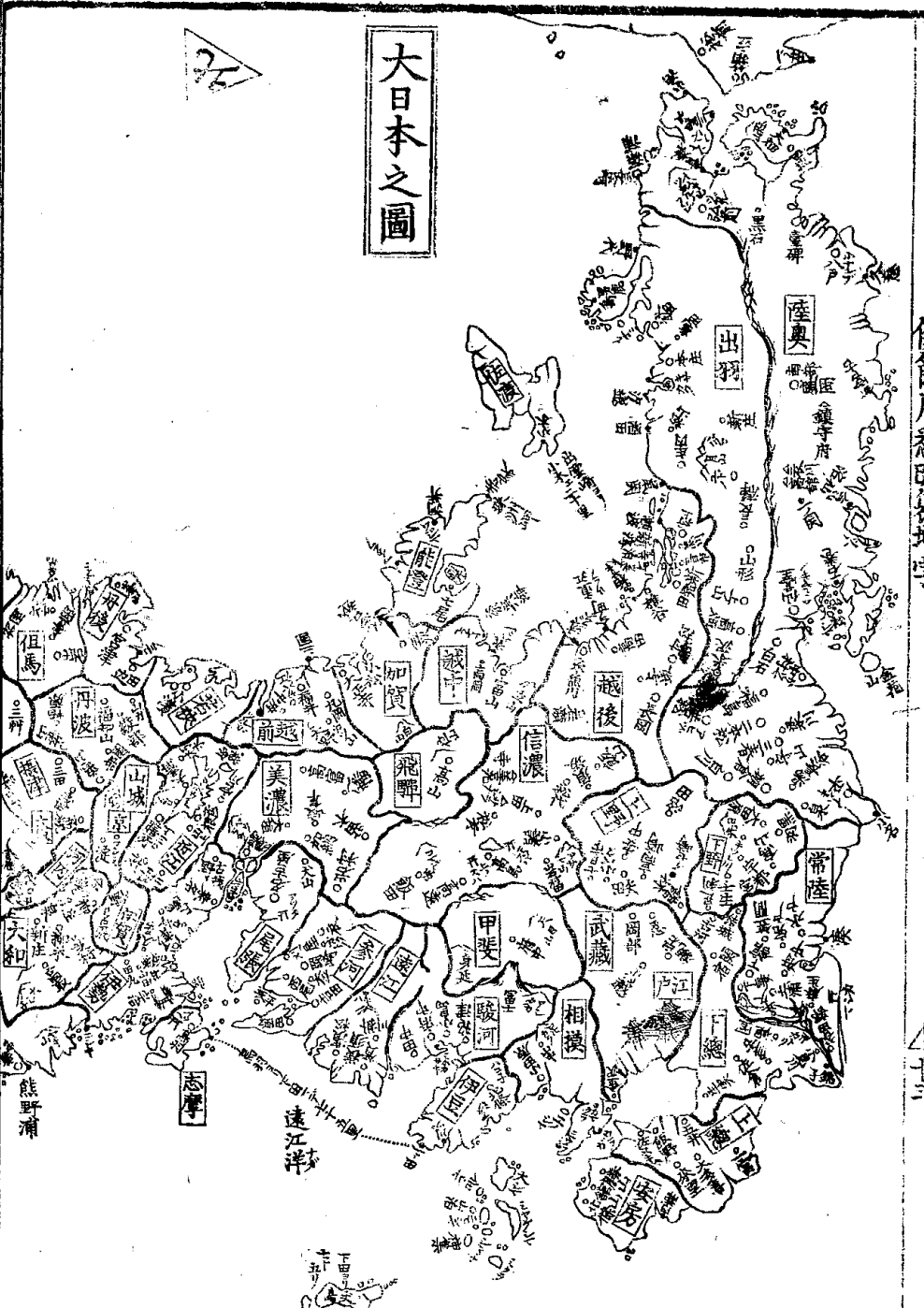
南

北



西

大日本之圖



今新圖之所測量家善
本ヲ縮寫スルニ元祿間秋ニ
シテ全備スルヲスル故ニ其羽
邊九州地等抗曲ニ強テ紙
上ニ填ムヨリ別ニ地圖ヲ
置テ其地ノ方位ニシテ其地
一國ノ分内廣狹等ノ事ヲ
差ヒテ有リ其地ノ地名ヲ記
ス筆ヲ容カセハ止ニテ得テ
左右ニ平均シテ其地ヲ廣ス
トイハテ敢テ其他ニ及サズ
者國界ヲ尤ムカレ

遠水春曉識

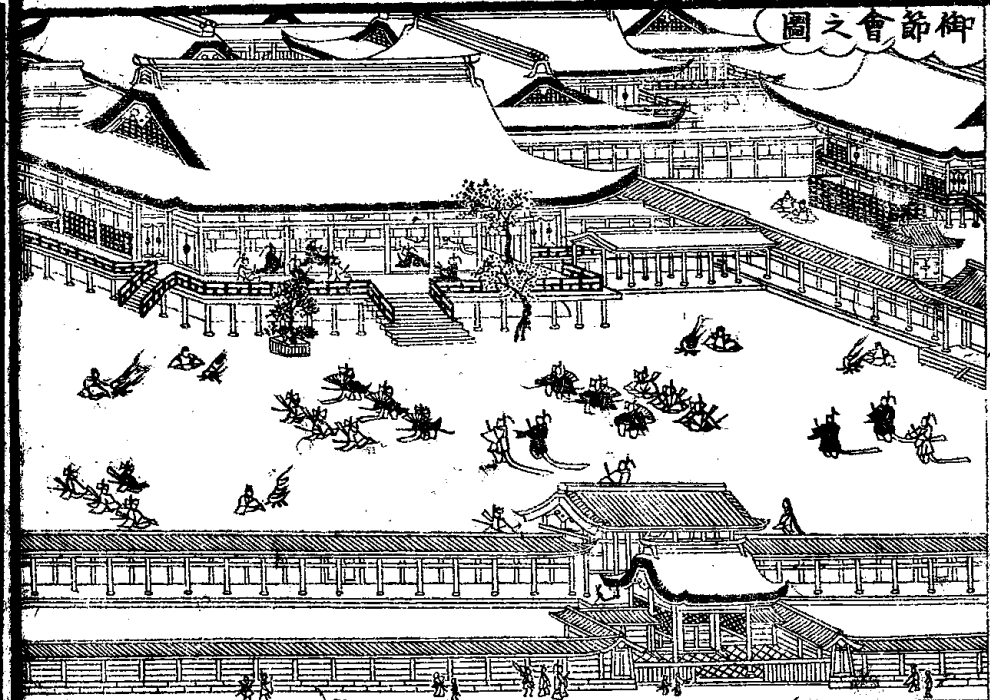
朝鮮



肥前名護屋
壹岐勝平三
十六里
勝本對馬府中
四十八里



南



改正御武鑑

諸大名御居城
御知行附郡名
諸國知行高附

▲五畿内 五箇國

山城上條官八郡太主國
山州南北百餘里田數

八千九百六十一町知行高
二十一萬六千七十石

乙訓府首野愛宕紀伊
宇治久世相樂綴喜

松平和泉守
文化十一年ヨリ

佐野肥後守
七百石
文化十一年ヨリ

松浦伊勢守
十五萬石
文化十一年ヨリ



▲北陸道 七箇國

若狹若狹州
中管三郡南
北一日半小上
園也田畝三千三百三十九
町知行高八萬五千九百九十石

遠敷大飯三方
但本府治百三十三里是後
三町園ノ邊ハ此

酒井若狹守
十萬石
文化十一年ヨリ

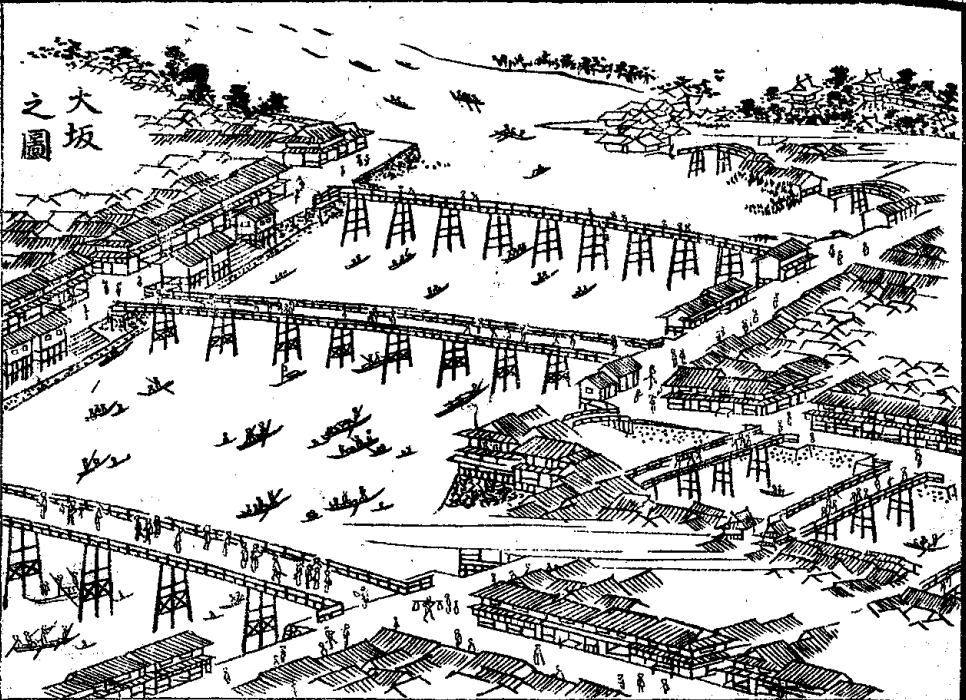
越前越前州
大管十二郡南
北三日半大上
園也田畝二萬三千五百七十
六町高六萬八千二百五十五石

敦賀吉田丹生今立
足羽坂北太野林田
南条坂井忍田池上

松平越前守
三十萬石
文化十一年ヨリ

有馬右兵衛佐
九萬石
文化十一年ヨリ

大坂之圖



丹羽和泉守
一萬石
文化十一年ヨリ

橋本對馬守
十萬二千石
文化十一年ヨリ

大和和州
上管十五郡大
上國南四百餘
里田畝七千五百五十五丁知行
高四十四萬四千四百三十石

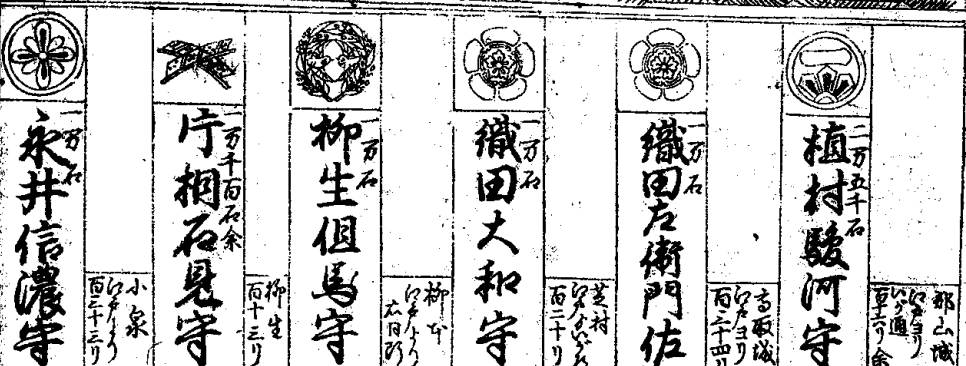
添上添上郡
平群廣順
葛上葛上郡
宇智宇智郡

吉野宇智郡
城上城上郡
高市高市郡
山邊山邊郡

川井越前守
六萬石
文化十一年ヨリ

松平甲斐守
十五萬二千八百八十石
文化十一年ヨリ

江戸日本橋之圖



四百石
土井甲斐守

五音石
同部 鐵之進

酒井飛騨守

旅賀州 上壽日郡東西二
 日半上國國穀一萬
 二千五百三十六町
 一千四百二千五百七十石
 能美石川河小
 旅賀府

加賀中將

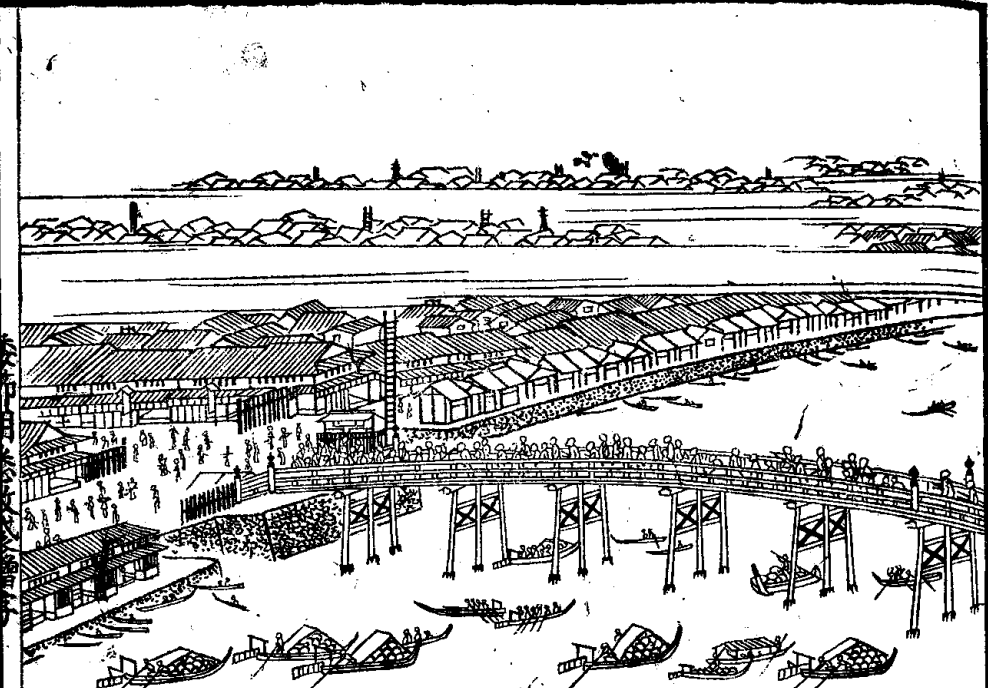
松平備後守

能登のり列れつ 中管四郡東
西二日寧上小關

萬一萬六千九百一十石
羽化
能宅
周奎
珠湖

趙中
列
上管四郡四方
三日大中國

田畝二千三百九十九町高
五十三萬六千三十石
湯波射水 湯波新川



織田一石左衛門佐


 一万石
 織田大和守

柳生但馬守

片桐石見守

永井信濃守

河内カハチ
大管十五郡大
中國四方二日余

田數一萬九百五十七町知行
高三十八萬八千八百五十七石

大無河内懷良淡田

丹北 丹南 高安

北條相摸守

高本主水正

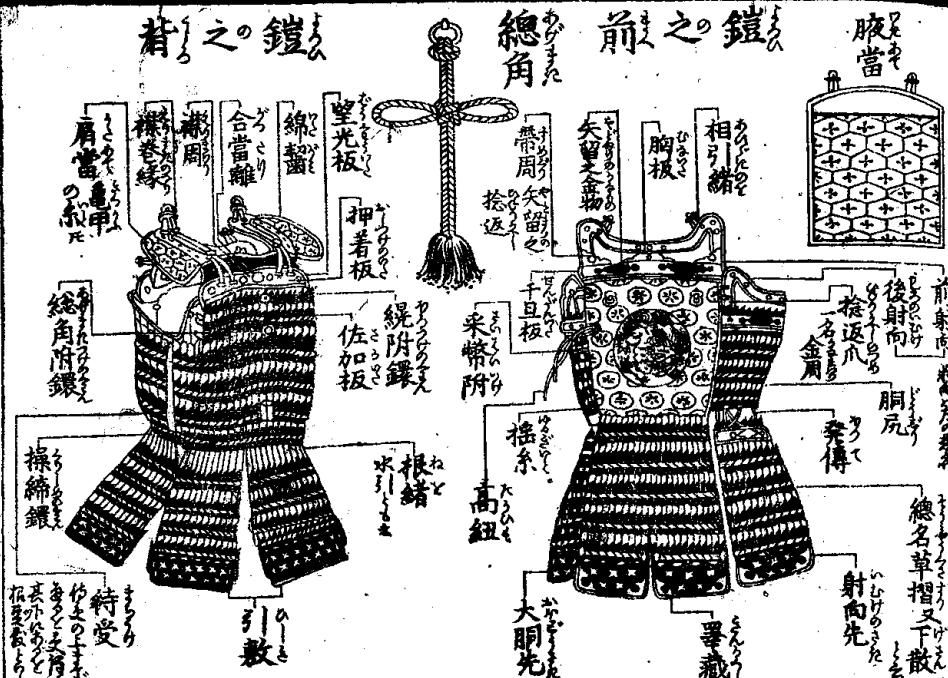
和泉わづみ
下管三郡大下
國南北百余里

田數四千二百二十六町知行
高十三萬八千七百九十七石

諸武器之圖



前之鎖 總角 着之鎖



 松平隆盛守 十萬石 富田城 下馬 百四十石	 五百石 大鳥和泉目根 三宅長門守 文化十四年三月	 五萬三千石 岡部美濃守 岩和田 百四十石	 一萬三千五百石 渡邊越中守 備前 百九十九石		 攝津 上管十三郡南 北百余里田數 一萬六千五百三十七町知行 萬二千九百九十九石	 信吉百餘 東成西成府 林勢下 上老 河色武庫 夷京有馬 矢同	 八萬二千石 松平右京大夫 大坂 津城代	 三百石 荒尾但馬守 同前 津守	 十二萬石 彦坂和泉守 同前	 二萬石 中山勘解由 同前	 四萬石 松平遠江守 同前
 松平隆盛守 十萬石 富田城 下馬 百四十石	 五百石 大鳥和泉目根 三宅長門守 文化十四年三月	 五萬三千石 岡部美濃守 岩和田 百四十石	 一萬三千五百石 渡邊越中守 備前 百九十九石		 攝津 上管十三郡南 北百余里田數 一萬六千五百三十七町知行 萬二千九百九十九石	 信吉百餘 東成西成府 林勢下 上老 河色武庫 夷京有馬 矢同	 八萬二千石 松平右京大夫 大坂 津城代	 三百石 荒尾但馬守 同前 津守	 十二萬石 彦坂和泉守 同前	 二萬石 中山勘解由 同前	 四萬石 松平遠江守 同前

當流諸礼儀攝之繪抄

お湯の湯



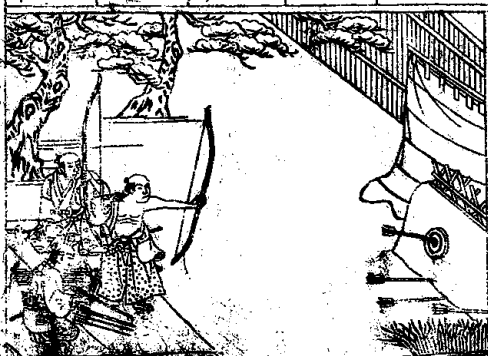
数々... 和... 依... 一... 目...

牛人... 三... 二... 九... 附... 十...

廣... 方... 取... 載... 中... 更... の... 万... 一... 扇... 中... 途... 足... 形... 少... 少...



成瀬軍人正	三河 上管八郡下々	數七千五百四十町知行高	三十五万石	伊豫 賀茂郡田	寶飯八名 徳永 源兵衛	松平伊豆守	本多中務大輔	土井淡路守	松平和泉守	松平因幡守	京極加賀守	仙石美濃守	松平飛騨守	松平刑部	伯耆 上管六郡南	河村 久米八	日野 舍見	出雲 上管十郡	田代 九千九百六十町知行高	遠江 上管十四郡大上	大岡越前守	松平縫殿頭	三宅備中守	内藤山城守	松平淡路守	土井淡路守	松平和泉守	松平因幡守
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...



	十五万石 酒井雅樂頭		五万九千九百八十九石 脇坂中務大輔		二万石 森越中守		一万五千石 森芝次郎		一万石 建部内匠頭	林田 百六十五石	百六十五石
---	----------------------	---	-----------------------------	---	--------------------	---	----------------------	---	---------------------	-------------	-------

 一柳對馬守 一万石	小野 小野 一万石	 小笠原信濃守 一万石	 本多肥後守 一万石	 丹羽和泉守 一万石	 三榮 三榮 一万石	美作 美作 一万石 上管七郡東西 田叔一万余六百十六町高 二十二万七千七百十石 英多勝田 菅西 菅東 久米 今分爲新 直島 大庭 南條北條
--	-----------------------------	---	--	--	--	--

五花之圖
花拍



四季の心づき

春は物心づき...
夏は物心づき...
秋は物心づき...
冬は物心づき...



五節の心づき

五節の心づき...
上巳の桃柳...
七夕の七夕...
七夕の七夕...

阿部鉄丸
忍城
十五里

大岡主膳正
忍城
十五里

安部振津守
忍城
十五里

米倉丹後守
金澤
十五里

安房房
中管四郡南北
田敷四千三百六十二町
九万七千七百七十九石
平郡安房朝夷長後

酒井大和守
勝山
十五里

稻葉播磨守
勝山
十五里

水野壹俊守
北條
十五里

上總
大管十一郡南小
二万二千三百六十六町
高世七万八千八百九十石

周准
天羽市原海上
畔蒜望陀夷備植生
長柄小道武射

阿部駿河守
佐野城
十五里

黒田豊前守
佐野城
十五里

池田内匠頭
新田
百七十五里

池田山城守
新田
百七十五里

備中
上管九郡東
田敷一万八千三百三十三町
二十万七千八百九十四石

板倉元之進
新田
百七十五里

板倉元之進
新田
百七十五里

板倉元之進
新田
百七十五里

板倉越中守
新田
百七十五里

木下肥後守
新田
百七十五里

關但馬守
新田
百七十五里

伊東播磨守
新田
百七十五里

備後
上管十四郡東西
田敷九千二百九十八町
三万八千八百九十石

備後
上管十四郡東西
田敷九千二百九十八町
三万八千八百九十石

○相生公（合公）松竹梅三
子種とてまゐりしゆ是すまの也
ありのたむをばふ君松を旗
月形といひやうなる工なく
括る枝繁葉茂も括止るまで
用ぐべし元一系四花四葉等
太さ小きふゆへ

未だ元とてふかのみをたぬ
らうとて、接と必用をひのこ
りよるべきとふた返とて、河本
海とて、く用多し

志を^{こころ}なすに三年忌むる
若し事^{こと}の心を^{こころ}を用ゐるは^{これ}
殊^{ことごと}き^{こと}

砂の物語

抄の巻に立派と云ひしは、物と
まじりてゐる爲なり。つてさへ有り
錦糸襦袢とのけををき下
揃一の附と袴の中す。また
向うより心を立整二様の内は
おかしきと云ふ方とも。二ツ様の
袴は、衣に切ひつて足或いぞろ
志中道等と云ふ一日、巾着
あり。きこ二條あふ心。

▲抛入生花事

内にて定式あり一様よりみ七
種をもも取合はくはうん花を
をせよまたの忍人如く宮中の
流儀法式を立て其持指に依
りてしるべき事也又元の文
流るればこそと云ふ法の或す
たかき事あり一瓶の中枝を
まゐりよう風流と書くと

むすむす

○延慶生亦老不

○事此有案

わく果てふ枝

中

[illegible]

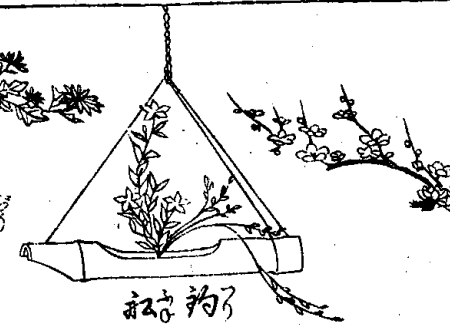
為校と用ざるの

○清うぬを花の中

此乃其意也

○おぼろけのうた

卷之終




 二万石
 松平織部正
 久留里
 江戶ヨリ
 二十三リ

	二万石 保科下總守	大田秋城 江戸ヨリ 光二リ余
---	--------------	----------------------


 有馬鶴之助


 加納大和守
 一之宮

下総（下総） 下後十二郡南北
（例） 三日大申國也田穀
 三万二千三十八町 知ぬる三千
 九万三千三百九十石
 爲傍子葉印幡祖集

獺馮
 續城
 豐田
 逆瑤
 海上
 香取
 殖生
 岡田

堀田相摸守

佐倉城
シテヨリ
十三半余

	土井大炊頭
古河城	十六日

水野日向守

	内田伊勢守
	五万八千石 久世大和守
	小見川 三十六石

三上ミカミ 惠藏エゾウ 淨調ジヨウテウ 世羅セロ
 沼隈ヌマヰ 品治シナヂ 葦田アシダ 甲奴カヌ
 安那アナ 深津フカヅ 神石カヌシ 奴可ヌカ

三谿三次
又去落華中國江岸海陸三百里
十方石
阿部備中守

猶山城	百九十四半	三原城 松平安藝守持分	上三郎南
------------	--------------	--------------------	-------------

安藝あき
 別わか北二月半天下
 國也田畝一萬七千八百四丁
 萬石五萬九千三百八十四石
 沼田ぬまの加茂かもの安藝あき佐伯さへり

山縣 高田 高田 冬田
四十二萬六千餘
松平 玄菴 守
廣濟

三首并リ
 何々ヨリ

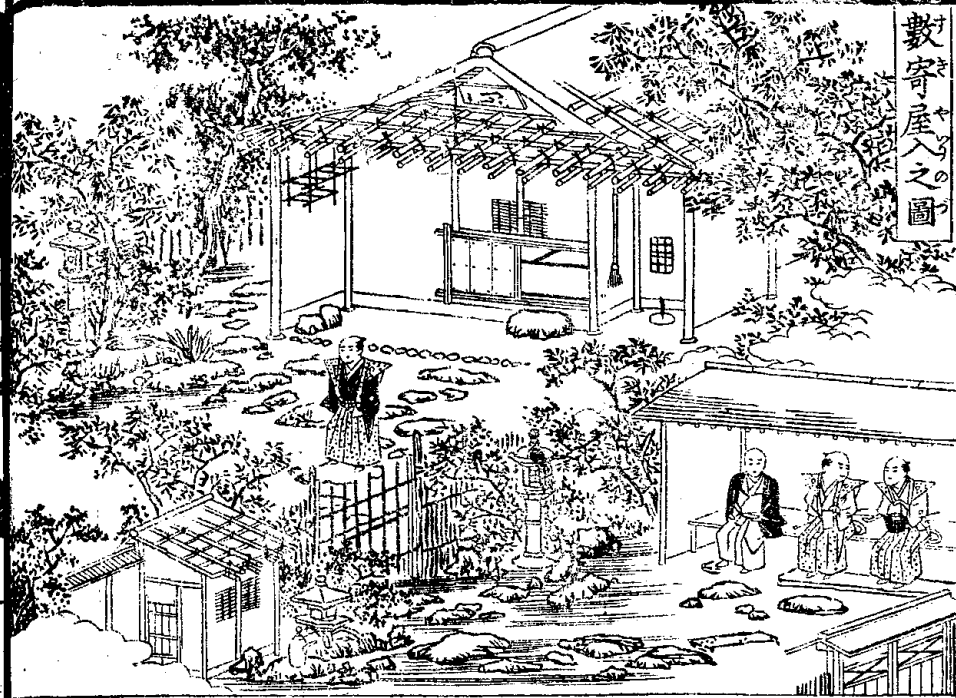
三石
松平近江守
新田
右門衛

周防^十上管六郡東
西三日中上國
田畝七千六百七十町加行
高十六万四千四百二十石

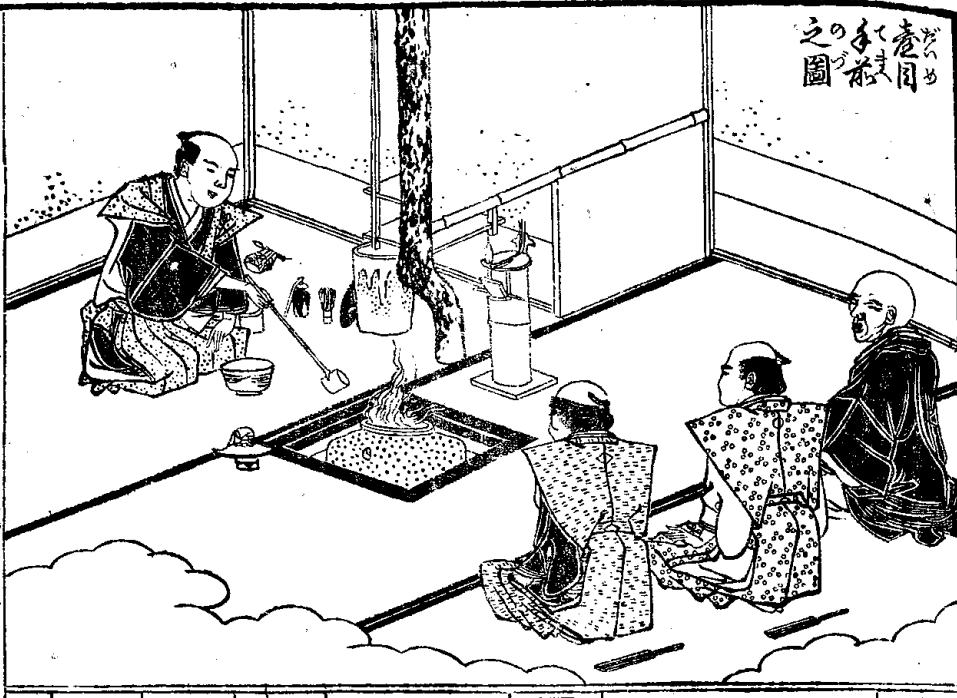
大昭新和書局
熊毛佐波有
三
毛刺大和守

德山
三音辛方
長門ちやうもん
中書六部東西
二日半中國也
回教四千七百六十四町和

數寄屋入之圖



之の茶圖



井上疏後守
園宿城
石三十三

馬場
松平大藏少輔
石一萬二千
多古
石十九

森川紀伊守
生實
石一萬
石十二

常陸
大管十一郡太令
中國南北三日
田收四萬二千廿八町知行
高七十五萬三千六百石

新治眞壁後波河丹
信太淡城行方那河
久急河鹿嶋

水戸宰相殿
石三十五萬
使三修
水戸城

松平播磨守
石二萬
府中
石三十

松平彝若
石一萬
府中
石三十

山口周防守
石一萬七千
府中
石三十

行高十三萬四千五十九石
原豐浦英絲大津
阿武見清
石三十三萬九千

松平大膳大夫
石一萬
萩城
石三百七十

毛利甲斐守
石五萬
府中城
石三百八十

毛利伊豫守
石一萬
府中城
石三百八十

南海道
石一萬
府中城
石三百八十

紀伊
石一萬
府中城
石三百八十

紀伊大納言殿
石一萬
府中城
石三百八十

伊都那賀名州海部
石一萬
府中城
石三百八十

安藤常刀田島城
石一萬
府中城
石三百八十

淡路
石一萬
府中城
石三百八十

三原
石一萬
府中城
石三百八十

松平阿波守領分
石一萬
府中城
石三百八十

[illegible][illegible]

土屋相摸寄

卷一

細川長門等

福生
三十一

井上内膳正

シモタチ
下 領 城
江戸ヨリ
北二リ半

近江
列江

三郡四
半木上々

浅井伊香 高島甲賀
上落積 下落積

後アノチ 甲賀カガ

市橋 鈿次郎

次郎

加藤 孫太郎

太郎

田數五千二百四十五畝
高十八萬六千七百九十三石

田數五千二百四十五町
高十八万六千七百九十三石

林平西

林平西

大内 三木 山田

大内 三木 山田

高松城

高松城

百六十四
半

百六十四
半

伊豫列上管四郡
二日大中國也田

伊豫列 上管廿四郡
二日大中國也田

越智 野間 風早 新氣

越智 野間 風早 新氣

太刀折紙目録調様

万積物の法式

進上
ひるす分

御方 一腰

御馬 一匹

ひるす分
ひるす分

御方 一腰

御馬 一匹

ひるす分
ひるす分

御方 一腰

御馬 一匹

ひるす分
ひるす分

御方 一腰

御馬 一匹

ひるす分
ひるす分

御方 一腰

御馬 一匹

ひるす分
ひるす分

御方 一腰

御馬 一匹

ひるす分
ひるす分

御方 一腰

御馬 一匹

ひるす分
ひるす分

御方 一腰

御馬 一匹

この図は、戦国時代から江戸時代初期にかけての武士が着用していた様々な防具と武器の図解を示しています。上段には、異なる形状の兜（かぶと）と、それに付属する面頬（めんほ）や頬当（ほおあて）が描かれています。中段には、胴当て（たてあて）や腰当て（こしあて）などの胸当てと、それらを支える鎧（よろい）の構造が示されています。下段には、様々な形状の槍（やり）と、それらを支える槍柄（やりがら）が描かれています。各図には、その防具や武器の名称や、着用・使用の仕方の簡単な説明が添えられています。

 本多下總守 水戸城 百九リ	 堀田攝津守 堅田 百九リ	 堀田豊前守 宮川 百九リ	 遠藤但馬守 三上 百九リ	 頼恒安藝守 山崎 百九リ
--------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------

 加藤山城守 大洲城 二百九リ	 加藤遠江守 西條城 二百九リ	 松平左京大夫 松山城 二百九リ	 松平隠岐守 今治城 二百九リ	 松平壹岐守 喜多守和 二百九リ
---------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

この図は、戦国時代から江戸時代初期にかけての武士が着用していた様々な防具と武器の図解を示しています。上段には、異なる形状の兜（かぶと）と、それに付属する面頬（めんほ）や頬当（ほおあて）が描かれています。中段には、胴当て（たてあて）や腰当て（こしあて）などの胸当てと、それらを支える鎧（よろい）の構造が示されています。下段には、様々な形状の槍（やり）と、それらを支える槍柄（やりがら）が描かれています。各図には、その防具や武器の名称や、着用・使用の簡単な説明が添えられています。

 松平中務大輔 高須 百九リ	 美濃 大管十八郡南 田村一万五千四百四町知行 高五十八万五千五百廿三石	 石津不破 安八池田 大野 席田方縣 各務山縣 郡上賀茂 可児土岐 惠奈奈集 武蔵多摩
--------------------------------	---	---

 一柳因幡守 小松 二百九リ	 伊達遠江守 宇和島城 二百九リ	 伊達紀伊守 吉田 二百九リ
--------------------------------	----------------------------------	--------------------------------

進上
一 瓶子
一 磨布
一 大口
一 磨蓬
一 丁子
以上
名氏官
字名

主人或は
教方の
厚みま
けのど
便さ
もの
園ふ
を

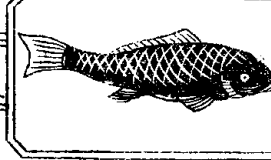
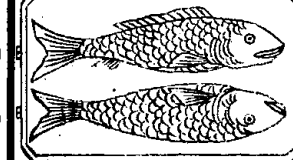


何處はそゝ
 中へいりて
 ぬききとた
 有とたて
 堅小あ
 上


 十萬石
 真田彈正大弼

田畝一萬三千三百七十七畝
知行高卅萬二千八十九石

進上	萬足	以上	以上	萬ひき	以上	以上	進上
も目を上 のり紙の 紐一級方 のていし 中下ハ文 字と若手 にまー	日教うこの 中へめひ 中若ハは 実ふと除 き下まハ ふ氏安と まうて	中若ハは 実ふと除 き下まハ ふ氏安と まうて	中若ハは 実ふと除 き下まハ ふ氏安と まうて	中若ハは 実ふと除 き下まハ ふ氏安と まうて	中若ハは 実ふと除 き下まハ ふ氏安と まうて	中若ハは 実ふと除 き下まハ ふ氏安と まうて	中若ハは 実ふと除 き下まハ ふ氏安と まうて

 川名を管代 むうふあて 既と我を 指物へはふ 川へはあて をわくはし	 川へはあて はむの頭を 向てふ 脊と我の 方へあて あふ積く	 勢れの程 ふの腹を すくこれ 敷きまふ 堅まふ ツカ板金 まうて	 後まの附 のりて のりて 右の腹を かたの向 今ふて はむて	 もへは うそ たの腹を おてふ はまふ 確と すま はむ	 もへは うそ たの腹を おてふ はまふ 確と すま はむ
---	---	---	--	---	---

 松平伊賀守 松代城 五十三 上田城 四十六 半	 牧野宮内少輔 小諸城 四十六 半	 本多豊後守 飯山城 六十四 余	 内藤大和守 吉達城 五十五 余	 内藤豊後守 吉達城 五十五 余	 松平丹波守 松本城 六十四 半	 諏訪伊勢守 高橋城 五十四 余	 堀大和守 飯田城 七十九 余	 堀淡路守 須坂城 五十八 余	 上野 大管十四郡東西 田敷二万八千五百三十四町 知行高四十六万四千石
--	---	--	--	--	--	--	---	---	---

 有馬玄蕃頭 三十一万石 久留米城 三百三十一 余	 有馬玄蕃頭 三十一万石 久留米城 三百三十一 余	 立花左近将監 三十一万石 柳河城 三百九十一 余	 豊前 上管八郡南北 四日大中国也田 敷七千五百七十町 知行 高三十二万五千八百八十石 田河企救系物仲津 飯城上毛下毛 宇佐 七つ下園より小倉へ三三三 大坂より小倉へ松原百廿三里	 小笠原大膳大夫 小倉城 三万六千 余	 小笠原近江守 小倉城 三万六千 余	 奥平大膳大夫 中津城 三万六千 余
---	--	--	--	---	--	--

所方贈礼用図様、手帳

五上 十文
 五下 十文
 四上 十文
 四下 十文
 三上 十文
 三下 十文
 二上 十文
 二下 十文
 一上 十文
 一下 十文

後病用図様
 女用図様
 男用図様
 又病用図様
 又病用図様
 又病用図様
 又病用図様
 又病用図様
 又病用図様
 又病用図様

一金子 二千文
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折

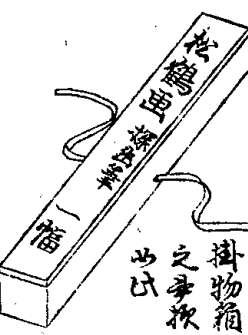
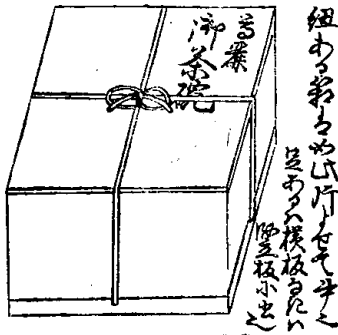
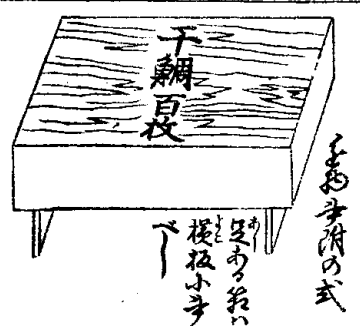
一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折
 一沙金 一折

一夜欄 七文
 一夜欄 十文
 一夜欄 二十文
 一夜欄 五十文
 一夜欄 一百文
 一夜欄 二百文
 一夜欄 三百文
 一夜欄 四百文
 一夜欄 五百文
 一夜欄 六百文

一夜欄 七文
 一夜欄 十文
 一夜欄 二十文
 一夜欄 五十文
 一夜欄 一百文
 一夜欄 二百文
 一夜欄 三百文
 一夜欄 四百文
 一夜欄 五百文
 一夜欄 六百文

一夜欄 七文
 一夜欄 十文
 一夜欄 二十文
 一夜欄 五十文
 一夜欄 一百文
 一夜欄 二百文
 一夜欄 三百文
 一夜欄 四百文
 一夜欄 五百文
 一夜欄 六百文

一夜欄 七文
 一夜欄 十文
 一夜欄 二十文
 一夜欄 五十文
 一夜欄 一百文
 一夜欄 二百文
 一夜欄 三百文
 一夜欄 四百文
 一夜欄 五百文
 一夜欄 六百文



難水 利根勢
 佐位 新田 彦 邑 栗
 那馬 多胡 綠野 那波
 田 耳 栗

松平右京大夫

松平右近將監

板倉伊豫守

土波山城守

松平彈正次郎

酒井信濃守

松平富少輔

前田大和守

下野 上管九郡東西
 田敷二万七千四百六十町知
 高四十六万四千石
 足利 芳賀 真盛 於
 梁田 安藤 寒川 隆吉
 那須

豊後列 上管八郡四万
 田敷一万二千二百廿一町知
 高七万八千五百九十二石
 日田 疎珠 直入 大
 海 大分 速見 國治

中川修理大夫

松平備中守

松平左衛門尉

本下主計

稻葉伊豫守

久留湯伊豫守

毛利豊前守

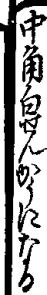
肥前 上管十一郡南北
 田敷一万二千四百六十二町知
 高五十六万四千四百三十七石
 基津 養父 三根 神所
 佐嘉 小城 松浦 持島

○ 基之調字

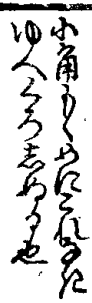
○ 基之調字



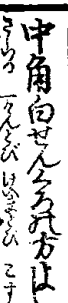
大角白せんろの中
うら



中角良んぬにたる



小角よりやうな事を
いふところもある也



中角白せんを方は

衞 綽
 國 約
 施 觀
 尖 毅

上卯
巳卯
辰
申
午

いふり糸
和列三福糸
信元白目緑糸
下轄とく分糸

上園	修善寺天奈奈	朔日	初辰の豆を煮く
日	日松尾まつり	五日	日けいふ
中園	か辰あつひ奈	日	歳の数をおふ
二申	坂本山王奈	日	やほあつひ奈
上巳	江別多賀奈	日	今や奈
中卯	日八まん奈	十六日	住吉田う奈
中寅	清水さかあ奈	廿八日	俄雲をい奈
朔日	江別けくま奈	毎日	
三日又日	あけ目目奈		
四日	大和庚辰田奈		
八日	磯松比叡奈		
日	山勝天王奈		
九日	清水地王行奈		
十四	大和南麻呂奈		
十六日	三海子奈		
十七日	春日母神奈		
	日光所奈		

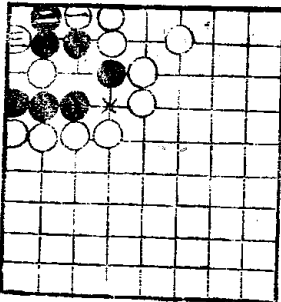

 松平越中守
 百川城
 江戸ヨリ

	松平肥後守		會津藏		板倉甲斐守		松平大學頭		仙臺藏		松平陸奥守		九十九
---	--------------	--	------------	---	--------------	---	--------------	---	------------	---	--------------	---	------------

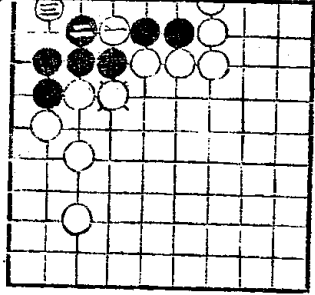
高五十七万二千九百八十石
 玉名山鹿薮池阿蘇
 給志山神飽田比麻

益城宇土八代天草 葦北球磨	細川越中守	熊本城	細川長岡筆刀 八代城	細川采女正	熊本彩田 乃同り	細川和泉守	相良志摩守	人吉城	三百五十五金
益城宇土八代天草 葦北球磨	細川越中守	熊本城	細川長岡筆刀 八代城	細川采女正	熊本彩田 乃同り	細川和泉守	相良志摩守	人吉城	三百五十五金

御除刺
 勅創頂踐
 打必探門

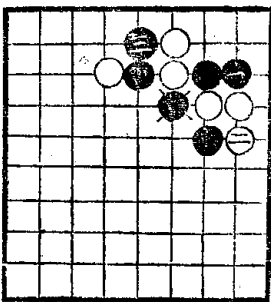


中角白あててる要

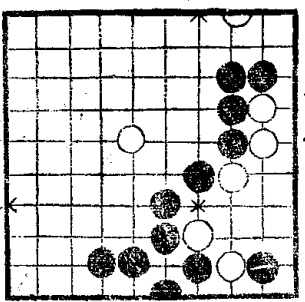


中角白あててる要

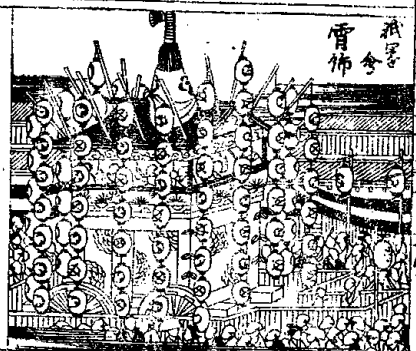
仙初落
 張...
 傷...



小角...
...
...



中角...
...
...



六月
 初日 微雪...
 二日 今...
 三日 今...
 四日 今...
 五日 今...
 六日 今...
 七日 今...
 八日 今...
 九日 今...
 十日 今...
 十一日 今...
 十二日 今...
 十三日 今...
 十四日 今...
 十五日 今...
 十六日 今...
 十七日 今...

七月
 初日 加茂...
 二日 建仁寺...
 三日 中...
 四日 中...
 五日 中...
 六日 中...
 七日 中...
 八日 中...
 九日 中...
 十日 中...
 十一日 中...
 十二日 中...
 十三日 中...
 十四日 中...
 十五日 中...
 十六日 中...
 十七日 中...

仙臺家...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

仙臺家...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

仙臺家...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

仙臺家...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

仙臺家...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

仙臺家...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

仙臺家...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

仙臺家...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

仙臺家...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

仙臺家...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

仙臺家...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

日向...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

日向...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

日向...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

日向...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

日向...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

日向...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

日向...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

日向...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...

日向...
 田村...
 秋田...
 南部...
 内藤...
 伊東...



金銀桂馬

香銀角角

彼等のけしきも知らぬ

初上の町より派ゆくまゝにて
たゞ此後と今折衷しては新
まゝ上りの町に接する者
の町にのみ移るゝる町に
移るゝる者をたゞ

星 王 金 飛 歩 桂

銀金角

朔日
 三日
 五日
 十日
 十五日

系非龜苑系松尾
 社神少角力
 衆及櫻天神系
 江原白松昭神匠姥
 越女傳系急流系
 石清水放生金衣門

十六日
糸菱大皮糸
十八日
糸上下巾蓋糸
廿二日
浮勢素衣まつり
廿六日
冠帳表式
徳永安井半徳天
室の沖云

三 日	南郊大古八牖祭
四 日	京北聖象
八 日	泉涌古金利去
九 日	魏晉寺船然見沛

十日 大津四の文系五系
天林系



廿三日	永六地投了	廿三日	永六地投了
十八日	永六地投了	十八日	永六地投了
十六日	永六地投了	十六日	永六地投了
十五日	永六地投了	十五日	永六地投了
十四日	永六地投了	十四日	永六地投了
十三日	永六地投了	十三日	永六地投了
十二日	永六地投了	十二日	永六地投了
十一日	永六地投了	十一日	永六地投了
十日	永六地投了	十日	永六地投了
九日	永六地投了	九日	永六地投了
八日	永六地投了	八日	永六地投了
七日	永六地投了	七日	永六地投了

棚倉城
のちヨリ
五十里飛下

田沼玄蕃頭

松前志摩守

二千五百石
本多淡路守
文永十二年甲子日

夏目龍溪將監

上管十三那东
西五十日大上之國

秋田 由利 本

雄勝平康田とくらひらうたねの

佐竹德壽丸

仿行壹枚寄

百四十三

國也國穀五十五萬石
初修高三十一萬五千六百

以
中
無
見
為

紅毛司

二箇國

島田穀六百二十丁高一万五千九百八十二石

續奉江戶島海陸三百七十三里

下管二郡四方

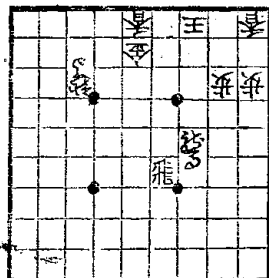
上縣下縣


 十萬石以上格
 宗對馬守

八百三十三

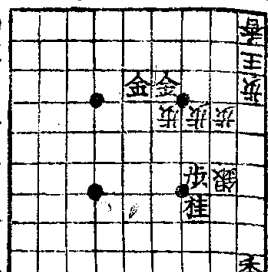
以上六十八所
改正御武鑑 畢

初日の角のふしをきき
金に金とて金とて金と
二日の角のふしをきき
金と金とて金とて金と
三日の角のふしをきき
金と金とて金とて金と

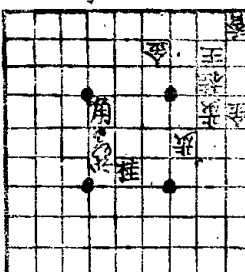


角銀銀角

太初日の角のふしをきき
金と金とて金とて金と
二日の角のふしをきき
金と金とて金とて金と
三日の角のふしをきき
金と金とて金とて金と



角



金銀金

太初日の角のふしをきき
金と金とて金とて金と
二日の角のふしをきき
金と金とて金とて金と
三日の角のふしをきき
金と金とて金とて金と

十二日 海老川...
十三日 海老川...
十四日 海老川...
十五日 海老川...
十六日 海老川...
十七日 海老川...
十八日 海老川...
十九日 海老川...

十月
五日 海老川...
十日 海老川...
十五日 海老川...
二十日 海老川...
二十五日 海老川...

十一月
五日 海老川...
十日 海老川...
十五日 海老川...
二十日 海老川...
二十五日 海老川...

十二月
五日 海老川...
十日 海老川...
十五日 海老川...
二十日 海老川...
二十五日 海老川...

正月 寅日 二月 巳日
三月 申日 四月 亥日
五月 卯日 六月 午日
七月 辰日 八月 未日
九月 酉日 十月 戌日
十一月 子日 十二月 丑日

正月 寅日 二月 巳日
三月 申日 四月 亥日
五月 卯日 六月 午日
七月 辰日 八月 未日
九月 酉日 十月 戌日
十一月 子日 十二月 丑日

上杉弾正大弼

上杉駿河守

秋元左衛門佐

松平山城守

戸澤大和守

酒井大和守

酒井大和守

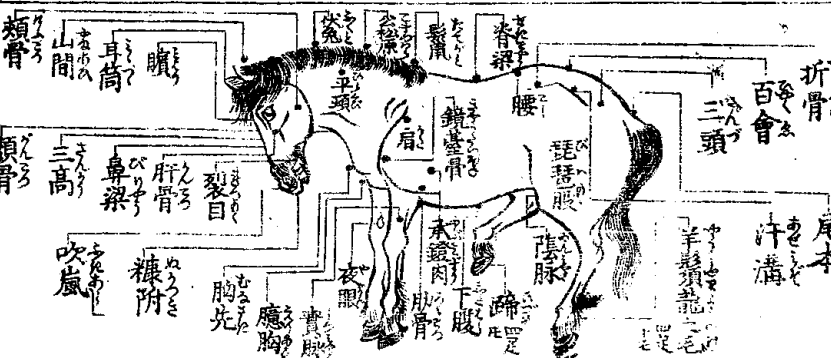
米津伊勢守

織田左近将監

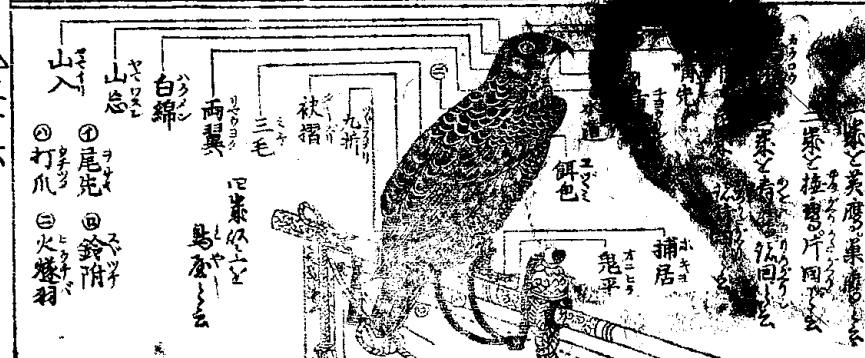
岩城伊豫守

六郷阿波守

馬形名所之圖



鷹名所之圖



算法異乘同除之解

算術の法... 異乗同除... 算法異乘同除之解... 算術の法... 異乗同除... 算法異乘同除之解...



Table with 4 columns and 8 rows of characters, likely a calendar or a list of names/words.

男女名頭相生の字は...

Table with 4 columns and 8 rows of characters, likely a calendar or a list of names/words.

當世料理献立抄

算法異乗同除之解... 算術の法... 異乗同除... 算法異乗同除之解... 算術の法... 異乗同除...

Table with 4 columns and 8 rows of characters, likely a calendar or a list of names/words.

Table with 4 columns and 8 rows of characters, likely a calendar or a list of names/words.

一、則宋孝宗時、世宗、因於其身、致身文宣
 附名、百入、仍身用、のまゝ、三、世、因、
 滿、么、世、中、因、と、身、致、身、の、まゝ、
 附、と、まゝ、の、身、致、身、の、まゝ、
 一、則、宋、孝、宗、時、世、宗、因、於、身、致、身、文、宣、
 附、名、百、入、仍、身、用、の、まゝ、三、世、因、
 滿、么、世、中、因、と、身、致、身、の、まゝ、
 附、と、まゝ、の、身、致、身、の、まゝ、

[illegible]

拾遺女名氏
本姓者 振振 破曉 可愈
吳能代燈小 入燈者 五而今猶想之能睡
輝皆韓 王惟者 留勉者 於下 爲一 代
里世 年登一 能以 更傷 登勢 廉聖 地
爲因 務任 孝樂 樂務 通 遊 蝶 潤 吃
相 爲 隱 波 雅 金 惟者 和 依 服 仿 會 疑 墨
能 夏 子 八 重 子 十 十 百 紙 慈 開 本 綿
百 舍 楚 小 惟者 急 系 率 速 常 無 若 什 式
教 尺 振 振 袖 除 振 組 總 仿 仿 用 便 代 岑 矣
象 杖 床 瑞 候 操 三 子 楊 登 黃 雜 花 表 以

[illegible]

[illegible]

所	あつち	に	ま
所	こへん	く	す
才	あつち	に	ま
方	あへん	く	す
无	あつち	に	ま
无	あへん	く	す
日	あつち	に	ま
日	あへん	く	す
月	あつち	に	ま
月	あへん	く	す



○なます
鯉こい
だうしえけん
車えんりき
かじりあら

大木	わき	丸腰の あぶ	ふす
大木	わき	丸腰の あぶ	ふす

歌々これゆゆのれき非にあらざるや手紙が
 小のななりなりといき口信と歌まな
 憎古きう流るゝの手よりて流るゝ
 天下の幸ひより物なきふれりより
 物なきとて流るゝ流るゝの流るゝ
 歌々これ世俗小娘のふれり

百家の姫を
 氏を
 輯録

初め
生外
乃文
日用
言用々

教養の松よ
りつ々々

以イ

乾坤

乾けん 陰イン 陽ヤウ

坤こん 陰イン 陽ヤウ

陳ちん 陟しつ 遊ユウ 絲シ 雷ライ 霆テイ 電デン 列レツ 缺ケツ

乾けん 陰イン 陽ヤウ 氣キ 氣キ 枉わう 絲シ 震しん 電デン 剋けき 鉄てつ

岩^{ガン}
裕^{コウ}
一^{イチ}
窟^{クツ}
池^チ
水^{スイ}
沼^{ズム}
冬^{フユ}
泉^{セン}
生^{セイ}
洲^{シュ}
蘗^{ギョ}
井^{セイ}
堤^{テイ}
壩^ニ
埽^ス

物防家宅令屋店養序板庇
狗防家宅令屋店養序板庇
多宅令舎下り屋ヤ庵あり菴あり廬一山校庇

夫日本武將の略は神代の時
天照太神降臨す武甕槌を以
て神としてを奉るの意を以て
神武天皇天下を定むる時道
臣令等麻呂麻呂令等入世
て天皇と統御せ給ふ其後氣行
天皇を以て日本武尊と令して
東夷と征伐せしめ給ふ徳太子將
軍此号これより略が又武將の天
下を管御し政略とあるより
略と録類朝儀白川上宮と云
浪公奉て本宮義仲及び平
成二族を滅し四海を治む
勢四よりより六十餘州の勢
追捕使小笠原を武家の棟
梁と仰ふ所の一王より後天下
の諸將武家小笠原

板間 | 縁 | **菟橋砒毒市** | 坊 | 店 | 町 | **都村射場**

院家屋敷 | 一居 | 持 | **居室** | 水 | 張石園爐裏

井筒 | 一合 | 輪 | **石垣** | 一段 | 碑 | 壘 | 堦 | 塹 | 燭

澤雨陰為 | 一氣 | 雲 | 晴 | **入海** | 月洋 | 出栖 | 溪

色所 | 在里 | **田舎** | 影 | 異國 | 一朝 | 石山 | 膽吹 | 岩間

古飯室 | 泉川 | 新熊野 | 一口 | 至和

寺 | 飲徒室 | 泉川 | 石上 | 次



活世
式十年

清和天皇十代左馬頭兼我於三男
平治の亂小庸也（一）
（二）色（三）或年（四）は盛の純母池邊氏を
贖ふゝて助命せられ後豆ま
添ふるに時永曆元年二月に於
十四歳に後法皇四年八月後白河
院を此院室と奉て閑所に在り
揚ぐ（五）
（六）の時年（七）元暦元年未君薨御
の乳と云ふに續て年々衆門人を

[illegible]

醫師いしや者しや下ゲ鉞ゲツ人ジン幼ヨウ稚チ令レイ子シ田テン舍シャ一イチ者シヤ鄙ヒョウ人ジン鄉コウ士シ

治世十八年

光厳天皇寺願下藤道家公の
四男之實相薨去の後嗣乏を
中より二位の探虎の封ひず
於親睦の内縁あり小付て漢金
を賜ふ事約のきき給を徒しむ
時、二年二歳より探虎薨中に
ありて此事を傳へ八年世の人
尼將軍や探虎の孫二年三月
賴經、仁美、大將軍、小經、仁寛、元

活世八年

賴經の長男實之三年四月征
美大將軍小治に建長三年十
二月愼念の士藤將軍賴經^{よしの}と
世成^{よしの}の考あは^{よしの}風^{よしの}守^{よしの}て^{よしの}抱^{よしの}隆^{よしの}
依^{よしの}く同四年三月愼念と遊て^{よしの}未^{よしの}れ
降く^{よしの}應^{よしの}之^{よしの}と^{よしの}年十月薨^{よしの}年八

活世
十五音

後張藏院第^をより之^を建最四年
三月^に中象時^の院^をより之^を張
金^をより白^を四月^に心夷大將軍
より^{より}之^を二年^に青^を底^をより^{より}之^を
總^をより^{より}之^をより^{より}之^をより^{より}之^を
文^をより^{より}之^をより^{より}之^をより^{より}之^を
院^をより^{より}之^をより^{より}之^をより^{より}之^を
房^をより^{より}之^をより^{より}之^をより^{より}之^を



鑄物師 冶工 石工 隱者 士下居 院主 逸民 士

市人女親師 虜隷主 娼婦 俳儒 養人

異相人乞妻人後方看幻術若陀若奔女術等
 在女優人摘子舍人親主探一休和尙宋純元若藤
 の再山

支息 シ
 息 シ
 氣 キ
 呼吸 コフキ
 吸入 キル
 嘔氣 ウキ
 臭臭 クウクウ
 咳 カ
 努責 ノセツ
 窘迫 クワンパク
 壽命 ジュメイ
 短命 タンメイ
 長壽 チヤウジュ
 壽 ジュ
 命 メイ
 短 タン
 命 メイ
 長 チヤウ
 壽 ジュ

[illegible][illegible]

煙水踏波痛カキツミイナヅ
 生死活殺雙フシシフキツサウ
 名字
 伊藤一東生駒田板垣今井
 藤一東生駒田板垣今井
 伊藤一東生駒田板垣今井

伊庭ナリ 奈今川一色五十嵐榎板倉坂石

堂 新 飯 犬 養 雙 飯 沼 岩 井 飯

田^タ
稻^{イネ}
村^{ムラ}
葉^{エフ}
恒^{コト}
迎^{ムカフ}
達^{イチダク}
諫^{カン}
山^セ
負^{オシ}
辨^{ハズ}
勇^{ユウ}
禮^{レイ}
菴^{アン}

原^{ハラ}澤^{サハ}今^{イマ} 城^{シロ}古^コ茨^{ハツ}木^キ 池^{イケ}田^デ一^{イチ}尻^シ忌^{イミ}部^ブ
 系^{ケイ}々^々城^{シロ}茨^{ハツ}木^キ 池^{イケ}田^デ一^{イチ}尻^シ忌^{イミ}部^ブ
 井^イ仔^サ一^{イチ}上^ウ石^シ田^デ系^{ケイ}
 堀^{ホリ}田^デ松^{マツ}股^{マダ}砥^ヂ聖^{セイ}一^{イチ}貝^{バイ}

中興石河川
食衣類
衣類
冠裳絲
糸線縷緒

凌卽用悉收其書

舊抄未詳抄斤抄和重石單多藏子之抄要交所の雲錦の台の
 後金シメタカ依義いぎ格板くわくばん吉紫きちむら々々々鞍瓦くらわ石いし斲し方ほう兼かん板ばん夾くわ齒しの平へい形かたち板ばん珠しゆ

活世
北五年

活世

活世
三年

源也
廿五年

清和天皇^{ミチヒロ}平^ヘ五代足利^{アサノ}漢^{カン}守貞氏^{モリマコウシ}
の男足利又^{マタ}孝郎高成^{タカナリ}と稱^{イハレ}人故^{ユヘ}
高^{タカ}の字^{ナリ}を改めて孝成^{モリナリ}といふ弘^{ヒロ}の叔父^{オジ}

石換練緘具帷幕凌辱造刀番絛貝紋

稻イネ 負イナ 鳥トリ 蠟ロウ 蝦エビ 鵬ホウ 蝗ホウ 蝨シ 蚱サ 蟻アリ 宇ウ 官カン 蜥リ 蜴ギ 蛇ヘビ

蠔 芋ウ 蠟ロウ 竈カマド 符フ 馬ウマ 魚イサ 丁テイ 鯉コイ 鯉コイ 鯉コイ 江エ 豚ブタ 海ウミ 鹿カ

鰐シ 石セキ 蟹カニ 石セキ 首コウ 魚イサナ 煎セン 海カイ 鼠ソウ 魚イサナ 鰐シ 鱈ダウ 龍リウ 蝦カ

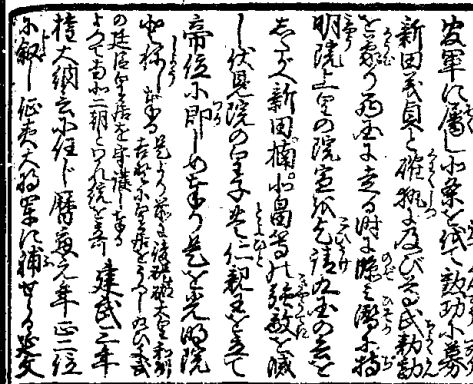
[illegible][illegible][illegible][illegible]

蠟燭。荊棘。茨。楸。檉。蘂。桑。刺。栗。求。

莓いちご 覆フク 盆ボン 株クサ 橘たちばな 芋いも 魁くわい 倭わ 吹ふ 本ホン 炙ヒキ 葡萄ぶどう 電デン 枝エ

荳蔻豆蔻 荳蔻豆蔻 荳蔻豆蔻 荳蔻豆蔻 荳蔻豆蔻

藁
薯
蕒
荊
崖
椒
壁
生
草
狗
模



元年四月廿九日其法名贈大相
 國一位等持院殿仁山妙義と
 号以年五十四
 執事 高師直 仁本頼章
 十 源義幹 治世 十年
 三 源義幹 治世 十年
 其成の長男之弘建武の間遷參
 け居成守り東國を愛ひて延文
 三年其成の遷葬と雖も位未だ
 稱されぬト貞治六年十二月七日
 薨と法名贈從二位左大臣實
 院殿瑞山道隆と号以年三十八
 執事 細川清成 新渡義將
 十 源義満 治世 四十年
 四 源義満 治世 四十年
 義隆の長子貞治六年義隆薨
 あつて後其妻宮子存く天下は事勢
 と義隆の甥の時二年十條細川頼
 之誠忠と以て補佐し康安之子
 義隆の弟を將軍と仰ふに二年を過
 て安徳を昇せしむ 康徳二年淳和
 時子兩院別当氏長老と號又

[illegible]

爰取爲記

三治年

義教の世より迄之を奉義教赤
松の爲に戦ひてく小及老臣亦義教を
多くを將て一赤松義教の押す
これを代へて義教の押すといふは
夫を將軍の臣義教の押すといふは
とて清といふ三年七月其日あはて
豊後高橋院一任左大臣慶雲院
殿宗山道と号年十歳

爰就細川持之 畠山持之

法世
四十九

義晴の弟嘉吉三年足利義晴世
 小つて家督成續と云應隆元年四
 月源美大將軍は任々定云六年
 政の源康成寺の^{さき}より義尊と云侯
 甘み嘉吉より義親と号以其父
 年義政男より任々云々と云
 任々父の年將軍の職を承り



王徵十卷
武政侯世

義政の長子文昭六年御妻松室
山任氏七年乙未秋公南遊これ松
義尚月一日別て還向とて松
延徳元年三月廿六日陶里の藩中
土妻法名婦大相公從役事松義殿
松山道治と号す 松竹市ノ下

隱遁居逸謀惡壹越音信問物

負^{ミツ} 數^{カズ} 外^ガ ソト 違^{チガフ} ク 亂^{ミヤカ} 背^セ 中^{ナカ} 變^カ 勅^{ミコトノリ} 例^{レイ} 犯^{トグ} 優^{ユウ} 美^ミ

遊アソブ 藝ゲイ 長ナガ 幾キ 等ト 一イチ 重ヘビ 久キウ 一イチ 番バン 人ニン 各カク 服フク

早サカ 晚バン 日ジツ 外ガイ 何ナニ 分ブン 時ジ 如カ 何ナニ 奈ナニ 何ナニ 若ニホク 何ナニ 那ナニ 何ナニ

何様一爲座席坐居
計一爲座席坐居

わづけぬぐい
一寝^ね
^{あざむくぬぐい}
二寝^ね
^{おさむる}
坐^ま
^{ふし}
睡^{すい}
^{ひんがせ}
一並^{ならび}
^{のり}
列^{れつ}
院^{えん}
宣^{せん}
号^{ごう}
心^{こころ}
後^{あと}
前^{まえ}

本^{ほん}上^{じやう}下^げ是^い儀^ぎ一^{ひと}表^{へい}一^{ひと}氣^き下^げ難^{なん}一^{ひと}痛^{いた}一^{ひと}洗^{せん}一^{ひと}相^{さう}風^{ふう}

換かへ一いち燭しやく一いち香かう 彌や愈え因いん縁えん 果くわ姪し私し 供くわ一いち慾よく
いによう者しや一いち名な 彌や愈え因いん縁えん 果くわ姪し私し 供くわ一いち慾よく
いによう者しや一いち名な 彌や愈え因いん縁えん 果くわ姪し私し 供くわ一いち慾よく

[illegible]

美^ミ 鬱^{ウツ} 邑^イ 奇^キ 腰^{ウサ} 今^{イマ} 子^コ 今^{イマ} 月^{ツキ} 今^{イマ} 犬^{イヌ} 追^{オウ} 物^{モノ} 色^{イロ} 々^々

色いろ平へい下げ者しや一いつ品ひん一いつ相あひ一いつ着ちやく一いつ目め一いつ愛あい一いつ氣き附つ潤うるは色いろ脱だつ色いろ節ふし濃のう淡たん褪たい粧しやう好かう粧しやう潤うるは色いろ色いろ節ふし香かうまき

源義材

治世 四年

義材の養子守り義材の養子守り
子義尚義子守り義材の養子守り
二年義尚義子守り義材の養子守り
山義尚義子守り義材の養子守り
義尚義子守り義材の養子守り
小義尚義子守り義材の養子守り

源義澄

治世 十四年

義澄の養子守り義澄の養子守り
初義澄の養子守り義澄の養子守り
義澄の養子守り義澄の養子守り
義澄の養子守り義澄の養子守り
義澄の養子守り義澄の養子守り
義澄の養子守り義澄の養子守り

源義植

治世 十四年

義植の養子守り義植の養子守り
初義植の養子守り義植の養子守り
義植の養子守り義植の養子守り
義植の養子守り義植の養子守り
義植の養子守り義植の養子守り
義植の養子守り義植の養子守り

源義晴

治世 三十年

義晴の養子守り義晴の養子守り
初義晴の養子守り義晴の養子守り
義晴の養子守り義晴の養子守り
義晴の養子守り義晴の養子守り
義晴の養子守り義晴の養子守り
義晴の養子守り義晴の養子守り



遺恨 風 憾 稿 文 威儀 光 勢 權

德 力 利 尼 子 目 忙 忘 第 劇 表 如 偉

太 早 炳 然 著 揭 焉 園 詳 鄙 賤 卑 陋 經營

產業 家 土 產 一 旋 一 焚 填 志 忿 怒 憤 懣 園

誘 妨 嫌 聊 聊 些 些 苟 慙 慙 唯 嗥 曲 解 祈

誘 至 迄 逮 至 至 致 偽 詐 詭 佯 信 器 量 免

接 威 軍 人 師 挑 一 戰 寢 寐 清 潔 潔 運 時 乞

去 牙 率 未 納 容 納 入 沒 淪 禁 制 戒 警 制 度

誠 訓 慈 悲 寵 恩 況 矧 諫 諷 勇 慰 慰 忌

物 生 活 勉 強 入 用 一 孔 一 必 一 遠 出 逢 入

愛 痛 入 恨 恨 憂 愁 焦 燥 刻 意 苛 多

愛 痛 入 恨 恨 憂 愁 焦 燥 刻 意 苛 多

北源義輝
十六年

五北
源義榮
治世

六北
源義昭
改世

代甚
勅許



祝聖懷抱雪之惟苦彩線結歡

祝賀イハガヒ 慶イハヒ 懷イハヒ 抱イハヒ 專イハヒ 太イハヒ 唯イハヒ 答イハヒ 彩イハヒ 絲イハヒ 綺イハヒ 齊イハヒ 龍イハヒ

崇禎
生左恬恬
吾不憂憂
恨軍厭
饑

科
坐坐在在怡怡悅悅否否不不無無安安忍忍房房爭爭厭厭離離徒徒

宋戴冠清森喪乃通汝別美士熾悍勢威

開^{カキ} 頂^{カキ} 冠^{カキ} 森^{カキ} 轟^{カキ} 乃^{カキ} 汝^{カキ} 熾^{カキ} 悍^{カキ} 勢^{カキ} 威^{カキ}

圍ト繞ハ過ス旦ト
 一真ハ散ハ
 伏ハ在ハ
 樂ハ遠ハ
 矯ハ矯ハ
 射ハ中ハ

圖繞逸足跌越
供遊樂鑄射外

黄
長安韻律押韻官可
像
誘惑通

洞忌教韻律次讀印可以施辭退應返事

所執之書曰之道云云
 一說一也一也一也
 地

何^カに^ニ孰^{ジュク}言^{ゲン}謂^ヰ曰^{イハレ}云^{クニ}道^{ダウ}言^{ゲン}嘖^{イン}
 一^{イチ}失^{シツ}一^{イチ}得^{トク}一^{イチ}出^{シュツ}一^{イチ}懷^ヱ

云性うんしやうにに寄よりに付つくに會あひに。爰こゝにに。定さだまるるに。善よき。惡わるきに。塵ちり。

云々
捨
止
三
妨
沮
破
採
縻
勝
負

一。募。一。渡。一。客。一。露。一。延。一。散。一。散。一。合。一。消。一。冷。一。拔。

一 親。一 次。一 分。一 淨。一 境。一 僕。一 張。一 固。一 防。一 傳。一 種。一 道。

一課。伏。拝。一。寧。次。在。云。牛。家。云。仕。胃。子。云。武。佐。胃。

遠とほ 約やく 爲な 一ひと 成なり 一ひと 垂た 響きこ 言こと 許きこ 嫁よめ 難た 計けい 試し 說せつ 言こと

いそぬ いをむくうせ 日 うきうきうきうき よ めん いふふ

三光の歌。夏。四有歌。五。其。象。若。也。上。

不可緩忽有識
福猶豫宥免恕

壬辰。夏。五月。乙未朔。日有食之。

才興宴藝作每如列生捕存命寂愛

即明崇禎庚子年

平相國清盛一代後亂鐵田候

張秀長男、永保十奉立、利家
 昭公奉_レ下_二源_一、_レ新嘗_二與_一源
 以是_二う_一國を_レ治_レる_二者_一、_レ又_二平_一
 六月二日、_レ系_二後_一、_レ往_二の_一諸侯_二を_レく_一
 明多光康_二を_レ弑_一せ_二る_一、_レ源公_二昭_一
 相國_二を_レ院敷_一と号_二年_一、_レ甲九

北平
平秀信
治世
三幸

信長の子男誕生後左中将佐忠房
長子也文正十二年波切の戦ひ
波牟宇綱と好む要長四年
ちるおふふ入く率に

北九
豐臣秀吉
治世
十八年

唐君以其姓爲之澤君以試之尾
別宅爲郡中村翁阿孫父子織園
修葺甚多カキ人歎功衆カキ子カキ子カキ天云
十年明智老壽之域カキ天下カキ常
孫カキ月十三奉園中作カキ姓カキ

豐唐と改む十四年大改大信從
 二位小叙は同十九年園白と稱し
 其子秀次は漢より孝長三年八月
 十八日薨逝と卷國大略抄と云



氣け 小 木 息 未 詳 審 辨 忌 否 不 要
 木き 息いき 未み 詳しょう 審しん 辨べん 忌き 否ひ 不ふ 要よう
 體相未詳一審將辨要長言不要

飛塵の如く出雲に遼東

● 出雲一帯

親ハハ頻ヒシ妹イモ足タラシ契ハカ妹イモ汗アザ法ハフ倭ヤマト物モノ食クハ逞ハヤシ雄オス猛マダ勇ユウ
齊セイ尚カ淹ニ坐ザ灼シヤク然ゼン幽ウ玄ゲン邃スエ閑カン趣ソウ遊ユウ獵リョク歷リキ

乞^い咄^でも^もあ^あう^う我^{われ}令^し操^{そう}恒^{へい}磨^ま折^せと^と拵^{しな}伊^い東^{とう}地^ち寧^{ねい}活^{くわ}像^{ざう}

海貼氣 丹波はのまゝ 惻惻 丹波はのまゝ 割涎涎死 丹波はのまゝ 喉急 丹波はのまゝ 給々 丹波はのまゝ

一見鈴すず入い施し息いき勇ゆう主しゅ紹しやう介けい全ぜん堂たう惟い嘯あう緣えん絃げん曲きよく彈だん基き

投石絨線戲以客砲取沈沈碎碎深深更更以公傳公以公傳公陰德陽報陰德陽報令巧令巧

1
3
3
3
2

3
2

2
2
2
2
6

0

乙
申乾
樓閣山霧屋
登一臺路
孤次須

呂口 樓閣 門露屋 臺路 路次 倚

[illegible]

陸地 廬廬 間邊 櫳牢 魯國 鹿野 苑六

皮ハダ羅ラ寧ニョウ也ヤ藏ゾウ角カク堂ドウ鹿ロク苑エン寺ジ
 陋ロウ巷コウ六宮リククウ

九
定
八
為
勢
六
郷
川
時
六
村
官
福
川
寺
全
六
法

廊下 候
六時 中夜 後夜
位
漏刻 博士
位

[illegible]

倫リン 轎夫カウ 福降フクノリ者モノ六孫王ムスナノミコ經基ノリモト安原成ヤスハラナリの
休ユ 癩カサ 漏モロ 轆轤ラク

着飛頭名
六角一
衣襖衫
裾袴
袴
袴
袴
袴

首カシラ 冠クラ 六角 郷アツ 省シヤウ 緑キナンド 衫カミ 紺アヲ 羅ワ 羅皂ワソウ

[illegible]

衣キヌ 羽ハネ 馬ウマ 用ヨウ 麋キ 鹿カ 圭キ 多タ 丁テイ 脩シュ

未

御治世
光八年

家史云以三男大和元年征夷大將軍示作。室中六年正月十日薨。

清治世
四年

綱吉の三男室永六年征夷大將軍に降下、延徳三年十月十四薨
文昭院殿中納言 治承六年十一月

御治世
四年

如雲の二男正徳三年征夷大將軍お佐十内六年四月晦日薨有章院殿中納言 治承八年

御治世
北九年

之如繼云の長男享祿之年迄奉將
軍小任ト宝曆之年六月廿日薨
有續院殿中經氏 享年五十八

濟治世
十七年

右宗子の長子延享二年征夷大
 將軍及び宝暦十年六月十五日薨
 愍信院殿と謚す

清治世
北七年

家室之長男宝曆十三年恒奏入
將軍小姓下天明年九月八日薨
後明院殿中丞清寧十三年

1

嘉治云の長男天昭七年任妻人將軍少経

清治世萬之歲



半外魯述志於

準的うべくのの老弱らうじやく狼率らうはつ芳はう痛いたのの妙めうあう
 直魂ちくこんは石良いしかう踏額たうがく之の國こく葬そうし

は

乾坤
 白駢
 青陽
 彗星
 字星
 破軍星
 柄

宝

相半輪月素為霞白虹雪
 旗雲斑雪

秘

一雲 イツン
 一水 イツスイ
 薄氷 ハクヒョウ
 霹靂 ヘキリキ
 暴風 ハツフウ
 烈風 リョウフウ
 孤雲 コウン

夢

乾天テン 梅雨バイ 波濤ハタウ 浪濤ナウ 瀑布ハフ 八方ハツ 峽セツ
乾天 梅雨 波濤 浪濤 瀑布 八方 峽

渥

端山トウサン
山ヤマ
禿カ
山ヤマ
嶺リョウ
泥ドロ
林リン
系ケイ
細ホソ
島シマ
園エン
筆ヒツ

浸水

一色一側。平瀬。表流。波戸。儻尔。磐石。
 一發一納。迅瀨。奔流。波戸。儻尔。磐石。
 一色一側。平瀬。表流。波戸。儻尔。磐石。
 一發一納。迅瀨。奔流。波戸。儻尔。磐石。

格致

北梁の階別一板も一法も階も馬場番所や座房

切

一間。茅屋。方丈は宣花庵室苑。
二卷。茅屋。方丈法堂拜殿寶藏。
三庫。

孤臣

離リ座ザ敷フ柱チ楹エイ
 楹エイ石イシ櫺レイ檻ケン檻ケン欄ラン額ガク梁リョウ
 梁リョウ位イ堂ドウ家カ

破風

風半部驛路旅籠屋華洛繁華地配所

墓

標^マ 碑^イ 地^チ 小^コ 壑^コ 道^{ダウ} 方^{ホウ} 角^{カク} 位^イ 藩^{ハン} 坂^カ 東^{トウ} 西^{セイ}

墓

小冢壑道之方方角位藩城東

御公家鑑



百二十代

今上天皇

禁裏御所

御諱 惠仁

仙洞御所皇子

御母 中宮御所

寛政十二庚申年三月廿一日御降誕

文化六己巳年三月廿四日立太子

同十四丁丑年三月廿二日御受禪

同年 九月廿一日御即位

武家傳奏
山科前大納言忠言卿
廣橋前大納言胤定卿

太上天皇

仙洞御所

御諱 兼仁

後桃園院皇子

御母 盛化門院近衛隆房再前女

明和八年卯年三月十日御降誕

安永九庚子年十月四日御即位

文化十四丁丑年三月廿二日御讓位

武家傳奏

平松前大納言時章卿
日野中納言資愛卿



白馬御會

萬國蕃國蠻夷四陸
萬國蕃國蠻夷四陸

萬國蕃國蠻夷四陸

萬國蕃國蠻夷四陸

萬國蕃國蠻夷四陸

萬國蕃國蠻夷四陸

萬國蕃國蠻夷四陸

萬國蕃國蠻夷四陸

萬國蕃國蠻夷四陸

萬國蕃國蠻夷四陸

萬國蕃國蠻夷四陸

萬國蕃國蠻夷四陸

萬國蕃國蠻夷四陸

萬國蕃國蠻夷四陸

萬國蕃國蠻夷四陸

中宮御所 御諱 攸子

後桃園院皇女 御母 盛化門院御所

安永九庚子年十二月十一日 宣下
寛政五癸丑年十二月九日 准后
同 六甲寅年三月朔日 御入内
同年 同月七日 中宮

高貴宮 御母 新大納言局

仙洞第三皇子 御母 新大納言局

文化十二乙亥年八月廿八日 御降誕

高貴宮 御母 中宮

仙洞第四皇子 御母 中宮

文化十三丙子年正月廿八日 御降誕

女御御方 御諱 繫子

鷹司准后政熙公御女

文化十四丁丑年十二月十一日 御入内

親王家

伏見宮貞敬親王

有栖川宮親王

三品中務卿

同千石 下主 廣門内南

閑院宮孝仁親王

三品常陸守

同千石

三品

三品

三品

末孫子 一葉 祖母 婆 異母兄弟 花

婿新 嫁新亡君 一妻 靈 坊主 一官 法眷 嗣

婿郎 嫁婦 亡君 一妻 靈 坊主 一官 法眷 嗣

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧 伴僧

宮門跡方

御領二萬三千石 日光山
輪王寺公欲法親王
一品 天台

同千五百三十三石余 御室
仁和寺濟仁法親王
一品 眞言

同千六百三十三石余 大佛
妙法院 御無住
一品 天台

同千四百三十三石余 聖德太子
聖護院盈仁法親王
一品三井長吏 天台

同千石 白川村
昭高院 御無住
聖護院宮御兼帶

同千三百三十三石余 粟田口
青蓮院尊眞法親王
一品准后 天台

同千八百三十三石余 赤東
知恩院尊超法親王
二品 淨土

同千一百三十三石 勸修寺村
勸修寺 御無住
眞言

同千四百三十三石 南都
一乘院忠道法親王
法相

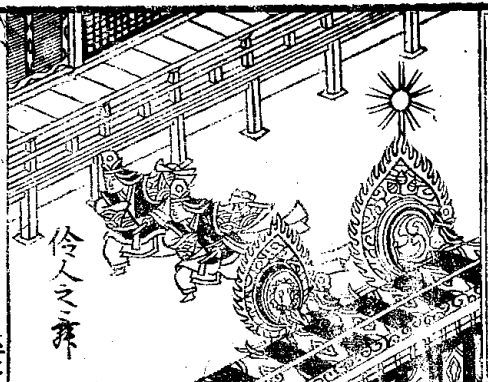
同千六百三十三石 今出川
提井兼眞法親王
二品天台座主 天台

同千七百三十三石 二乗村
曼殊院 御無住
眞言

同千七百三十三石 山科
毘沙門堂 御無住
日光宮御兼帶 天台

同六百九十九石余 新井寺
圓滿院 御無住
天台

攝家門跡方



白服 骨天行服

時乃病後汗腹

伴長谷河部速水濱名原芳賀八田

波多野羽柴初鹿土師服部橋本萩原

姓原 伯見田計具平之於宮

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麥飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麥飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麥飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麥飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麥飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麥飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麥飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麥飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麥飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麥飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麥飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麥飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麥飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

秦細林信屋次郎早川

伴長谷河部速水濱名原芳賀八田

波多野羽柴初鹿土師服部橋本萩原

姓原 伯見田計具平之於宮

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

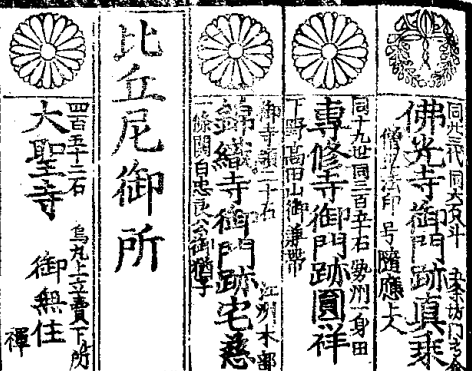
麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦

麦飯 粉糠 漢納豆 白雪糕 袍裳袴襦



									
千十六石余 上座殿 大覺寺御門跡亮深	九百四十石 南都 大衆院御門跡隆範	四百一十五斗余 北岩倉 寶相院御門跡義海	六百五十石 醍醐 三寶院御門跡高演	六百一十石 小野 隨心院御門跡御無住	三百石 清興 安井御門跡尊深	自開山元代 東六条 東本願寺御門跡光明	同十九代御願三百石余 西六条 西本願寺御門跡光攝	同元正法印 西六条 興正寺御門跡攝生	同元正法印 西六条 興正寺御門跡攝生
前大僧正法印東寺後者 真言	前大僧正法印 法相	前大僧正法印 天台	前大僧正法印 真言	前大僧正法印 真言	前大僧正法印東寺別當真言	前大僧正法印 達如大	前大僧正法印 達如大	前大僧正法印 達如大	前大僧正法印 達如大

[illegible]

攝家方

藤原姓



三千八百六十石余
近衛左大臣基前公



三千四百石余
九條大納言尚忠卿



二千七百八十石余
二條前左大臣治孝公



二千四百石余
一條前左大臣忠良公



千五百石
鷹司准后政熙公



七百石
久我大納言通明卿



四百九十石余
三條前右大臣實起公



五百九十石余
西園寺前納言實季卿



七百石
久我大納言通明卿



四百九十石余
三條前右大臣實起公



五百九十石余
西園寺前納言實季卿



七百石
久我大納言通明卿



四百九十石余
三條前右大臣實起公



五百九十石余
西園寺前納言實季卿



七百石
久我大納言通明卿



四百九十石余
三條前右大臣實起公



五百九十石余
西園寺前納言實季卿



七百石
久我大納言通明卿



四百九十石余
三條前右大臣實起公



五百九十石余
西園寺前納言實季卿



夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

夏防風 已為荷巴豆 我貝母 固本珠花宝

業わざ一ひと 馳ち 奔ほん 走そう 驅く 飊ひょう 馳ち 向かう 一ひと 一ひと 遠と 飽ほう 滿まん 食く



百五十石 下立要所月立
花園侍從公兼朝臣
正四位下
百五十石 今前正上公卿兼
裏辻從五位下實子



百五十石 梨本丁中後西角
梅園前參議實兄卿



百三十石
大宮三位盛季卿
東院南側
王正



風旱越前權正四位下公少元元朝臣



高松三位公祐卿



西殺所方例
百八十石
藪右中將公師朝臣



濟南米
西四過右少將公尹朝臣
正四位下



高兵寧大貳永季卿



二百石
中山大納言忠頼卿



三百石
難波大夫宗弘
徒五段下
松本陣古所より
ム子之ツ



野宮左中將定靜朝臣
正四位下



[The page contains dense, illegible handwritten notes.]

冬遠青 毎通花尺 園 誦 吏 面 觀

遙エウ 遼レウ 杳エウ 懸ケン 隔カク 拜オム 見ミ 眉メイ 喝カク 乳ニウ 痰タン 吟イン 祝シユ

一 笑嬌奴。一 妬。忘却。一 失忙。抱刺。一 白晝。
 一 笑嬌奴。一 妬。忘却。一 失忙。抱刺。一 白晝。
 一 笑嬌奴。一 妬。忘却。一 失忙。抱刺。一 白晝。

一 驍婢介視之 於忘却 失忙然 拜齒白狀

發明
 オコス 伊主カ
 聲一
 覺一
 表一
 散一
 汗一
 賣
 カフ
 買
 得
 ジン
 基
 夫
 孔

[illegible]

豪 ゴウ
 酷 コウ
 侍 ジ
 陪 バイ
 外 ガイ
 弛 チ
 逃 テウ
 躲 タウ
 排 パイ
 恥 チ
 辱 ジュ
 羞 シュ
 羞 シュ

永愧恥更羞穀
君能載至為誅吳王
唐懷業

忝テニ 慙サン 愧キ 争セウ 舍セ 羞シウ 恥チ 之シ 廢タイ 壞コホク 一イツ 務ム

忘^{ワスレ}。學^{ガク}。破^ヤ換^カ。賦^フ。却^{ケツ}。壕^{コウ}。裂^{セツ}。剝^{ハク}。物^{モノ}。鳴^{ナウ}。跋^{ハツ}。佇^{チウ}。立^{リク}。

破損ハツシ 戒カエ 刷シラフ 唆ソウ 跋ハツ 佇立テウリツ

惜字一識覽雅一實爲二級軍一北一在終

博學 一宏 一洽 一博 奕 番 敗走軍 一縐 一亡 終了

果 夾 板 人 呂 滯 以 遠 興 踏 履 拍 秋 華

男 夾 打 入 間 行 遠 書 路 氣 持 君 云

這^{ダン}入^ゲ 開^{セイ}張^{チヤウ} 貼^{テウ} 報^{ホウ}恩^{オン} 一^{イチ}若^{ニヤク} 褒^{ホウ}美^ミ 端^{タン} 傍^{ボウ}邊^{ベン}

奪むさう生なま木き切き齒は叙じょ齒は攘ざう酸さん鼻び鼻びののれれ攸けい旬しゅん魔ま碌ろく職しやく割くわ切き

星備しやうび一也いち番ばん脱だつ元げん徴ちゆう端たん傍ぼう研けん拏な倭わ催さい一いち俟はい

房事そうじ 睡すい 馬ば 麻ま 声せい 花か 華か 字じ 纏ちん 頭とう 張ちやう 合が 競けい 互ご 角かく 之し 賄わい 憤ふん 足そく 心しん

切腹自屠。反覆。一問家未了。廣流。系ト家ヲ。子。子。

食シキ礎ソコシキソコ 港ミナト々々々川カハ令リョウ突ツク鼻ビ華カ儼ゲン然ゼン芒マウ苕テウ 宝ホウ洲シュ漢カン分フン々々々一イチ第ダイ終シュウ

[illegible]

藤原姓

三百十二石余 梨本町 东例
中御門參議宗德卿

待明院右少將基延朝臣

園石中將基茂朝臣

東園左中將五十六基仲朝臣

壬生尾張權介家平朝臣

高野刑部輔保右朝臣

石野右馬權頭基標朝臣

石山前大納言基陳卿

六角左京權大夫和通卿

義原姓

冷泉前大納言為章卿

冷泉中納言為訓卿
正二位
号下冷泉

藤谷右兵衛又為脩卿
正三位

入江四位為昌朝臣
從四位上

[illegible]

仁
二

乾坤
日輪
日輪
蝕
虹霓
霓
帶
西風
傾日
驟雨
暴

暴風 バウフウ 庭場 テイバウ 燎燎 リョリョ 二階 ニカウ 惣屋 ソウヤ
颶風 グフウ 庭場 テイバウ 燎燎 リョリョ 二階 ニカウ 惣屋 ソウヤ

新製 貨食店 濁水入海 潮一光
 二季 候時 日中 夜中 没限 二季

中 至教
十二時
入梅。月元宗。七日。新嘗祭。林。中。のり。
二月。廿。日。土。月。中。卯。月。也。
二。所。宗。廟。

西宮大神うのみやの大じん
文徳太子ふんたき
丹生社にひるやしろ
養老子ようろうし
武蔵野
意輪親王いりんしんのう

官位
天皇女帝てんかうにょてい
人皇女にんかうにょ
帝みかど

院いちん市いち二に吊ひょう位い人じん
 次じ男なん書しよ肩かん性せい公こう僧そう
 次じ男なん書しよ肩かん性せい公こう僧そう

入乃人民定。夫役丁。人爲人。除相老婦人。

爆富豪ばくふごう
 富主ふしゅ
 爲持ためもち
 擴夫ひろお
 家生奴けせいぬ
 支體しだい
 面肉めんにく
 姪娘めいぢやう
 身任みんじん

乳常一癰
人體一相一而一疾一中英一白
字名
新田

仁科為尾村川丹羽
 二階堂

服食 肉味 食乳 味入 麵經 養深 梅 強 一 毫 經 之

發節用采及武裝增事

菅原姓

千五百三十石余
日野前大納言資真卿

八百五十二卷
廣雅
大臣伊光公
西鏡漆所角

烏丸大夫光政
從五位上

二百三十石余
中
夕力
栢原右少辨隆光

竹屋前省兵衛佐光棟朝臣
從四位下

日野西參議（上）延光卿（下）
正三位

勳軍中丞京大夫資善卿
正三位

裏松前有大辨明光卿

三室戶宮内卿能光卿
正三位

外山前中納言光實卿

豐岡前參議和資卿

北路前參議祥光卿

勸修寺家

甘露寺大納言國長卿
正二位



煑ユツ 煎セン 冷レイ 藥ヤク 熱ネツ 湯トウ 沸フイ 湯トウ 免レン 膏コウ 圈ケン 飯ハン 培ヘイ 撰セン 汁ジュ 贊サン
 財サイ 器キ 如ニ 意イ

如意にようい 乳木ちゅうもく 寶珠ほうしゆ 用もち 附つ 荷物にもの 貨車かしゃ 棧車せんしゃ 馱架たか 梯はし 行幸ぎやうぎやう 檢車けんしゃ 駝架たか 梯はし

搥あんこ人じん形がた土偶どぐう膠か漆し鏤らう香囊かうなん佩香はいかうの一いち幅ふく對唐物たいたうぶつのの

[illegible]

馬 バ
 る ム
 人魚 ウナギ
 沙魚 サウナ
 鬼眼晴 キヤン
 鏡 キョウ
 緋 ヒ
 草 クサ
 庭 テ
 櫻 オウ
 櫻 オウ
 日光 ニツコウ
 松 マツ

榎コ 接セフ 骨コツ 木モク 莖セイ 蒜セン 胡コ 蘿ラ 葡ブ 萄トウ 人ニン 參サン 肉ニク 桂ケイ 蔞レン 蔞レン 蔞レン

豆蔻乳香
苦竹 苦参 仁 柿 杏 槐 地 榆

豆マメ 薏イ 忍ヘイ 冬カウ 乳ナバ 香マニ
 篇マヘ 蓄マク 菌キノコ 荻アシ 百ヒャク 核カク 友トモ 檢ケン 敷フシ 三千サンゼン 宿シュク
 斗ト 牛ウシ 女メ 虛ソコ 危ヤブ 室ムロ 壁カベ 二ニ 五ゴ 右ミナミ 羅ラ 延エン 婆ハ

父ちち 櫛くし 朱しゅ 毛もう 挑てう
 量りやう 二十八宿ニハツハヤシ
 奎妻きさい 曾そう 昇しょう 畢ひ 觜し 參さん
 井い 鬼き 柳りゅう 星せい 張ちやう 翼よく 軫しん
 二王ニオウ 左サ 補密迹ホミツ 金キン

二親 ニシン 三親母 サンシンボ
 修身 シュシン 言語 ゴンゴ
 柔 ユウ 和 ワ 忍 ニン 辱 ジュク
 術 ジュツ 藝 ゲイ 入 イル 壇 ダン 佛 ブツ 定 テイ 室 シツ

滅^{ホト} 寂^{シカ} 零^{ミチ} 湯^カ 牢^{ヒツ} 用^{モウ} 浪^カ 府^フ 國^{クニ} 滅^{ホト} 濁^{ダク} 渾^{コン} 香^カ

[illegible]

新 日 人 上 純 取 深 あひ 俗 ひ 心 ま 心 こころ
 逃 ひ 同 ニ 奔 ハ 逃 ハ 山 ハ 北 ハ 双 ハ 傷 ハ 任 ハ 安 ハ 魚 ハ 憎 ハ 色 ハ 奴 ハ

走逃逐北 刃傷任惡憎



百八十三石 正五位上 藏人	七百六十石余 正三位	萬里路中納言建房卿 三百九十九石余 中納言為角	清閑寺左少辨共福 正五位下 中宮權大進	中御門侍從資文 二百石 西院東阿	百八十石 荒神社口	坊城左大辨俊明朝臣 正四位上 藏人頭院別當中宮亮	淨苑亮百石 正三位	芝山三位國豐卿 同五十石 正三位	池尻中納言暉房卿 同五十石 正二位	梅小路三位定肖卿 同三十石 正三位	序藤家 岡塔前參議國成卿 從二位

[illegible][illegible]



法印 眼 橋	星位 陪堂	倫人 母 公 堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂
法印 眼 橋	星位 陪堂	倫人 母 公 堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂
法印 眼 橋	星位 陪堂	倫人 母 公 堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂
法印 眼 橋	星位 陪堂	倫人 母 公 堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂
法印 眼 橋	星位 陪堂	倫人 母 公 堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂
法印 眼 橋	星位 陪堂	倫人 母 公 堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂	星位 陪堂

彫物師工
 彫物師工。凡失
 彫物師工。凡失
法師
 法師。牧童
 法師。牧童
支那類車油有
 支那類車油有。眸子黑痣膏
 支那類車油有。眸子黑痣膏
接骨小後孫抱小醫
 接骨小後孫抱小醫。頭窩翻胃。痢漏多熱
 接骨小後孫抱小醫。頭窩翻胃。痢漏多熱
名星野堀池田本間保科北條細川
 名星野堀池田本間保科北條細川
 名星野堀池田本間保科北條細川
増本多細の矢下合服
 増本多細の矢下合服。緩法服衣
 増本多細の矢下合服。緩法服衣
母衣
 母衣。時頭戴胸衣
 母衣。時頭戴胸衣
千座屋合。同穂波一見
 千座屋合。同穂波一見
 千座屋合。同穂波一見

村上源氏

二百六十五卷 寺阿云葉下
一條前大納言有庸卿
正三位

二百石
久世三位通理卿
正三位

百五十石
力老阿愛沙
上元
正三位
山石倉三位具集卿

千種侍從有功朝臣
從四位下

梅溪元中將行通朝臣

愛宕三位通典卿

東久世三位通庸卿

植松大藏權大輔雅諸
正五位下

うき源氏

三百五十石
庭田前大納言重嗣卿
正二位

二百石
綾小路前中納言俊資卿
正二位 按察使

五過三位トヨナリ豐仲卿トヨナリ

大原左少將重成朝臣
正四位下

慈光寺前老衛門佐尚仲朝臣
正四位下

范山源氏
清和源氏

二百石
白川神祇伯資延王日清河前
從二位

竹内三位惟德卿

菅原姓

高辻前中納言福長卿

布衣ふえ 小兒せうに 布ふ 縷る 飯はん 圖ず 飯はん 乾かん 飯はん 脯ほ

布衣北緇ハクシ
乾魚風鱉カンイフウカサガヘ
乾蘆薈一葉
生薑未熟セイキョウミジュク
培補散ホボサン

附蝦ツキエビ蕭折セウセツ通ツウ
 乾カン蘿ラ薑カウ
 一蓋イツガイ法論フツロ
 未醬ミショウ抱掖ブヤク衣イ補經ボケイ
 酒漿シュジョウ預中ヨチュウ肯綮ケンキョウ煩貼バンテツ溫淒ウンシツ演秋エンシュウ真多マタ
 聖凡セイハン革カク帝テイ券ケン

梵天^{ぼんてん}年^{とし}栴^{せふ}干^{かん} 砮^そ渾^{こん}縷^る切^{せつ} 細^{さい}干^{かん} 綳^{きやう}補^ほ藥^{やく}
 財^{さい} 鳳^{ほう}輦^{ふん} 拂^ふ子^こ

鉢ハチ 盂モ 巾フキ 行器ヨウキ 焙爐ホウロ 彫物ホウモノ 盆ハシ 盆ハシ 山ヤマ 帆フナ

[illegible]

雲流 春容 夜半沙獨木履

増ぞく木刀ぎとう 骨索こんさく 通接とおせつ 紐糸ひいと 蒙索もうさく 巡律じゆりつ 巡定骨じゆていこつ 也 击う 金きん 雷洞らいどう 又また 驅奏くそう 用 毛櫛けし

耳^{ミミ}排塵^{ハチン}巾^{キン}書籍冊子^{ショキツク}書箱^{ショウヤウ}厨^ヲ法螺^{ホウロ}
 單蓋^{ダンガイ}書道^{シュドウ}布^フ明^{メイ}扇^{セン}寶珠^{ホウジュ}圓孔^{エンコウ}土^ド火舍^{カセ}

麻繩マシロ 准マシ 杖シ 之ノ 奉マシ 加マシ 恨マシ 一マシ 書マシ 眞材マシ 形マシ 鳳マシ 凰マシ 杜マシ 鵲マシ 子マシ 規マシ

蜀蠅フジキ 名失 候キ 字フジキ 三三 呼呼 讀讀
 時鳥トトリ 郭公コウコウ 螢ホタル 火ヒ 帆フナ 立タテ 貝ガイ 渠ミヅ 螺カタツムリ 螺カタツムリ

志沛荒石銘

①畫眉鳥善捉鷹物昔勝匹各點
采後亂葉のうへ裁白馬星月毛縞魚れな合

草
牡丹 がねん
名取菜 名貴性
鳳仙花 わんげん
白英 はくえい
鬼灯 きとう
酸

白梅丸ちんえんじう
天来てんきよ南丸なんぐわん種常しゆぢやう德莖とくけい

齒^シ 朶^ダ 周^ホ尾^ラ草^ビ 白^グ甜^テ瓜^シ 梵^フ天^{テン}米^ミ 南^{ミナ}瓜^{ナン} 穗^ホ蒂^{テイ} 寔^シ



清家

石井前參議行宣卿



平家



五條前納言為德卿

蓬萊菜 ハルナ 蒲麥 ホト麦 檳榔 ビナウ 茜 アカネ 藜蘆子 ホトケ 荻葉 アシ 百根根 ヒャクネ
 芎藭 クモク 寄生 キジョウ 土苳 ド 佛甲草 ハツメクサ 苣荬菜 コウサイサイ 藜蘆 ホトケ 除藤 トウモロコシ 蒲葦 ハス
 菩提樹 ボダイ

善持子 やうぢ
 雲 ぐも
 本 もと
 瓜 うり
 海 うみ
 桐 きり
 夢 ゆめ
 言 こと
 宝 たから
 所 ところ

屬湯しやう 煇くわい 慍いん 粒りやく 略りやく 乾かん 喘たん 平へい 浸しん 通つう 氣き 經けい 赤しやく

崩御 煩惱粗略 乾瑞 于浸 逆解 綻大小

略程 經元 歷節 髮髯 風聞 寛みと不羽 雲煙

燃熱煩熱
熾の煩
本望
一臺未一暮一式祈
一方一腹
少朴性
歩の欲骨
勞力腰骨
然

[illegible]

嘸ハ 邊ヘ 涯タタミ 上ウヘ 傍ワタリ 側ソバ 絆ハナ 纏ミ 跣ハダカ 懸ツル 叛サバ 逆サカ 蜂ハチ 起オキ 亡ナシ
 威イ 底ソコ 浸シ 記キ 頭カビ 燭カ 心ココロ 等ナニ 定サダメ 修シユ 矜シヅメ

減ヘ 浪ミシ 没ボツ 發ハツ 起タツ 一イチ 落ラク 一イチ 句ク 一イチ 云ウン 一イチ 熱ネツ 詩シ 吟イン
 儻タウ 傲オウ 慳ケン 惚ホ 恍フ 公コウ 醉ズイ 卷クワン 杯ハイ 寢ニン 貴キ 癡チ

稱義。一。榮。賞。英。
 驕。傲。者。惚。惚。看。上。譽。
 稱。褒。賞。讀。

[illegible]

逸イツ 擲チ 擲チ 倨キョ 倨キョ 傲ガウ 傲ガウ 也ヤ 報ホウ 謝シャ 謝シャ 法ホウ 義ギ 義ギ 新シン 新シン 人ジン 人ジン 一イチ 一イチ 語ゴ 語ゴ 一イチ 一イチ 名メイ 名メイ 一イチ 一イチ 樂ラク 樂ラク 一イチ 一イチ 故コ 故コ

用^{モウ}勞^{ツマ}果^{サカ}服^ス要^{カウ}力^{カウ}令^{カウ}外^{カウ}器^{カウ}相^{カウ}性^{カウ}中^{カウ}

安家

安倍氏



百七十七石
土南左衛門藤原朝臣
從四位上 藤原朝臣



百五十石
倉橋刑部卿泰行卿
從四位上 藤原朝臣

大中臣家

大中臣氏



千石
藤波二位寬忠卿
正二位 神祇大司

卜家

卜部氏



七百六十石余
吉田村
吉田侍從長朝臣
正四位下 神祇大司



千石
萩原二位貞幹卿
正二位



千石
錦織中務權兵衛久雄
正五位下



千石
藤井三位行福卿
正三位

丹家

丹波氏



千石
錦路修理大夫賴理卿
正三位

六位藏人

江戶人



北陸左衛門大尉大江俊常
正六位上 民部大臣



藤島右馬助藤原助功
正六位上 藏人



北陸近衛大將大江俊矩
正六位上 中務少進



細兵衛權助源常顯
正六位上 院判官代

西局

使下役人之
使梁也



押小路大外記師德
從五位上 攝關進正



壬生官務小槻以寧
正五位上 左大臣主殿頭兼博士

清公家監平

奉納一書
加藤公仕
臣下
保計略一書

吼吠
號哭
塞口
振振
割割
傳傳

保赤
漢一
細織
蕃蕃
翻譯
一切
凡凡
早一
智智
鳳鳳

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

補佐一
深一
深一
深一
深一
深一
深一
深一

後醍醐天皇御曆

七十三

勅を降て文中の改まるる

百^{ひゃく}乃^の根^{こん}本^{ほん}素^そ素^そ丸^わ。
練^{れん}血^{けつ}甄^{けん}象^{しょう}。
紅^{こう}茸^{じょう}腦^{のう}脂^し。

李登即明末收代之曾子

1997



少納言 給事中
拾遺補綴の爰あり

大將 だしょう
羽林 はりん
左右近衛大將と藤川

中將
羽林中郎將

少將 羽林次將

卜
彖
合

考て天子の近衛にて補額の官と

文中の事と執りふ多藏之文方のを併

一、幕府の文書と、
幕府の文書と、

富中來々此中と筆を片收し

内奉 役のあり

准二宮きんなんぐう 之居安位これにやすきゐ 而しか 一ひと

檢非違使の事成法之下にあ

いくらでも液上の掃除が出来る。

紫玉草 (ハコヤモクシ) 砒雷 (ヒライ) 蛇莓 (ハブイチゴ)
 篇蓄 (ベンケイ) 系天果 (ケイトウ) 辟蕨 (ヒキワラシ) 碧 (ヒキ)
 桃 (モモ) 栳 (カサネ) 櫛 (シ) 帶 (オビ)
 河 (カ) 鑑 (カン) 於 (オ)

言語
 平均ヒョウケ 一治ヒトシ 一安ヒトヤス 一氣ヒトキ 一懷ヒトイ 一活ヒトイ 一產ヒトイ 一担ヒトイ 一和ヒトイ
 平ヒラ 均ケ 一卧ヒトイ 一坐ヒトイ 一伏ヒトイ 一余ヒトイ 一生ヒトイ 一脈ヒトイ 一考ヒトイ 一第ヒトイ
 遍ヒトイ 參ヒトイ 通ヒトイ 索ヒトイ 也ヒトイ 僧ヒトイ

偏頗へんぱ
偏頗へんぱ
變化へんげ
易い
異い
城じょう

體・編集・輯・福急返報・答・幸・札・轉・簡
華・編集・輯・福急返報・狀・牒・書・進・解

[illegible]

勉强ベンギョウ 辨舌ベンゲツ 一洗イチセン 一才イチサイ 忤悦ブエツ 一軟イチカン 不格フコク 一公イチコウ 一私イチシ 一公イチコウ 一私イチシ

吹フク 腹ハラ 紙カミ 内ウチ 志シ 公コウ 義ギ 裏ウラ 拍ハク 子コ
 家カ 一イチ 雞キ 時トキ 念ネン 拂フキ 妻ウメ 小コ 一イチ 德トク 号ガウ 拍ハク 子コ
 曲キョク

會キ
下手テ
下子
勞ハタ
馬
戸カド
隔ヘリ
阻サマ
間マヒ
耗ホウ
虛キョ

遜ソノ
 辭ジ
 上シヨウ
 宗ソウ
 介ケツ
 貢コウ
 換カン
 片ヘン
 長チヤウ
 缺クエツ
 漏ロウ
 耗ホウ
 入ニル
 經キヤウ
 纏テン
 年ネン

歴レキ 経ヘ 廻マワ の 疾ハヤ 當マコト 僅スグ 遜シノ 玄ヘイ 學ガク 一ヒト 法ホウ 偏ヘン 健ケン
歴レキ 経ヘ 廻マワ の 疾ハヤ 當マコト 僅スグ 遜シノ 玄ヘイ 學ガク 一ヒト 法ホウ 偏ヘン 健ケン

[illegible][illegible]

通暑采
金
與樓外
王
八分
方
上

清門府 名のんのふ 左右あり禁門を
守り雄略を執るむ

時 候
 歲 次
 年 始
 頭 歲 暮
 尾

委節用米女戒書

造寺使 寺院造営の
事官に任ぜらるる

防路河使 鴨川河の水を
防ぎしる官に任ぜらるる

絶薬院使 薬院に病を
絶するに任ぜらるる

将監 左右の馬を
統率する官に任ぜらるる

馬寮 左右の馬を
飼養する官に任ぜらるる

主馬署 御幸の時
に馬を統率する官に任ぜらるる

八省 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の三 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の一 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の二 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の三 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の四 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の五 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の六 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の七 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の八 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の九 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の十 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の十一 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の十二 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の十三 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる

四分の十四 法官の職に
任ぜらるる官に任ぜらるる



除夜の祭 守歳 毎年の歳次 月 丙子 丑 辰

新年の祭 毎年の歳次 月 丁丑 寅 卯

無の旬 冬 至 土 丑 長 夏 寅 一 丑 五 更

爆竹 童女 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

毎年の歳次 月 丙子 丑 辰

毎年の歳次 月 丁丑 寅 卯

冬 至 土 丑 長 夏 寅 一 丑 五 更

童女 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

神 家 德 神 鳥 居 神 門 戸 強 明 神 信 於 佑 明

刑部校刑部校尉
洗うところ

[illegible]

100

刑部省の所屬
大判事 刑部省の所屬
囚獄司 牢屋を司る人

大蔵省 法金の源金倉庫を司る
織物司 法金の源金倉庫を司る

宮内省 皇中百工の所屬
大膳司 法金の源金倉庫を司る

本工寮 法金の源金倉庫を司る
典簿寮 法金の源金倉庫を司る

警博士 法金の源金倉庫を司る
針博士 法金の源金倉庫を司る

内膳司 法金の源金倉庫を司る
造司 法金の源金倉庫を司る

采女司 法金の源金倉庫を司る
主水司 法金の源金倉庫を司る

以上八省平
諸國守 法金の源金倉庫を司る

以上
官職抄平

白散 毒藥一酒
獨來湯 宿病を治す
襖飛紗綾 絹織物

襖飛紗綾 絹織物
襖飛紗綾 絹織物

襖飛紗綾 絹織物
襖飛紗綾 絹織物

襖飛紗綾 絹織物
襖飛紗綾 絹織物

襖飛紗綾 絹織物
襖飛紗綾 絹織物

襖飛紗綾 絹織物
襖飛紗綾 絹織物

襖飛紗綾 絹織物
襖飛紗綾 絹織物

襖飛紗綾 絹織物
襖飛紗綾 絹織物

襖飛紗綾 絹織物
襖飛紗綾 絹織物

第一 天照皇太神

修験道の神子一名とて日靈貴
中^{ヒナノミ}と容貌^{イモトウ}豪華^{ヒナノミ}なりと
天上の華^{ヒナノミ}と爲^{ナリ}て凡^{ヒナノミ}を
のりて廿二万衆

二天惡穗耳尊

素衣素裳を天恩を拜し、
 とりて必く一のふ氣の中より
 けとるはを天恩を拜し、
 素衣素裳を天恩を拜し、
 とりて必く一のふ氣の中より

三第 彦火瓊杵尊

天經を拜の勅よりて、常々
の中。玉璣臨み人づゑに捧ぐ
申言を御公儀の律書と爲て
天皇を奉り目向ふ云々千徳
累小天下の一兒のく大山抵の
女麻呂岡耶姫をやとり反一
夜素てすやふ此流の女をう

[illegible][illegible]

[illegible]

伽陪カハ同ドウ共キョウ與ユ俱ク偕キョウ具グ伴バン侶リョ輩ハイ黨ドウ倫リン儔リョウ齊サイ曹ソウ

諸東漸 俗語 **一朱伐** 木を伐る **後煖** 金部 **一朱伐** 木を伐る **後煖** 金部 **一朱伐** 木を伐る **後煖** 金部

魯才（ろさい）鈍慢（どんまん）之地（のち） 火兗（かえん）震（しん）之地（のち） 斗撒（とさ）汗脚（あせあし） 兔搔（うさか）

[illegible]

物のあはれを
いふ万
うりも
多分
おと
うら
ん
ど
う
か
く
し
や
う
な
の
う
ち
に
ま
じ
ろ
う
と
い
ふ
こ
と
が
あ
る
さ
う
な
の
う
ち
に
ま
じ
ろ
う
と
い
ふ
こ
と
が
あ
る

[illegible]

徳の
 欲
 雁
 井
 束止
 革
 對
 年相

迷騰昏途方禁涸平修平舞平跟平涎平作平搖平涎平却平候平劑平

地聽こゝろ同おな打拳うちけん拚斗けんとう你是托地きつて准何なん估く的然しか是認し見み曉あき冷ひや房ふ

難限の悸どなたく必かならず居ゐる病びょうのの那里どこに於おて奇き及およんば、闕世けつせいのの再生さいせい一ひと地ち

途敵ヲ端ニ以テ國を滅スル方也。又易ニ「孚長」曰「宗民」也。宗民十

金六十二
忍志
イイコム

力を盡して一國を起すは勝手の事に之を料り當る

乾
長
高
井
前
也
登
の
港
大
蔵
娘
一
子
ハ
コ
ト
五
味

坤

長子
宿不
井富
也
鑿字
左地
震井
一庚
丁卯
戊辰
己巳
方。

[illegible][illegible]

基キ地チ 坤コン軸チク 塵チン 埃アイ一イチ世セイ 知チ行コウ所ショ 食シキ邑イキ 街ガイ

巷小分
波江
衡又及法
活見及名
溺又及法
所又及法
丁の半
晒飛津協
壬セブ
乃陳
樓
淳

巷コウ
岐キ
衢ク
阡セン
陌マク
町チヨウ
金キン
丁テイ
場バ
近キン
道ドウ
徑テイ
陣ジン

ちんぎぞう
一居
ちん
家
一居
土
ちん
極
土
ちん
肉
土
ちん
乗
土

[illegible]

車一匹
 二匹
 三匹
 四匹
 五匹
 六匹
 七匹
 八匹
 九匹
 十匹
 十一匹
 十二匹
 十三匹
 十四匹
 十五匹
 十六匹
 十七匹
 十八匹
 十九匹
 二十匹
 二十一匹
 二十二匹
 二十三匹
 二十四匹
 二十五匹
 二十六匹
 二十七匹
 二十八匹
 二十九匹
 三十匹
 三十一匹
 三十二匹
 三十三匹
 三十四匹
 三十五匹
 三十六匹
 三十七匹
 三十八匹
 三十九匹
 四十匹
 四十一匹
 四十二匹
 四十三匹
 四十四匹
 四十五匹
 四十六匹
 四十七匹
 四十八匹
 四十九匹
 五十匹
 五十一匹
 五十二匹
 五十三匹
 五十四匹
 五十五匹
 五十六匹
 五十七匹
 五十八匹
 五十九匹
 六十匹
 六十一匹
 六十二匹
 六十三匹
 六十四匹
 六十五匹
 六十六匹
 六十七匹
 六十八匹
 六十九匹
 七十匹
 七十一匹
 七十二匹
 七十三匹
 七十四匹
 七十五匹
 七十六匹
 七十七匹
 七十八匹
 七十九匹
 八十匹
 八十一匹
 八十二匹
 八十三匹
 八十四匹
 八十五匹
 八十六匹
 八十七匹
 八十八匹
 八十九匹
 九十匹
 九十一匹
 九十二匹
 九十三匹
 九十四匹
 九十五匹
 九十六匹
 九十七匹
 九十八匹
 九十九匹
 一百匹

系定 1 月 1 亭 1 座
 ちやまやちやま
 井 井
 本ウ エン
 起キ

茶室一間。底屋花間柱礎。石違棚千曳石。

中央ナカウラ 一天カクノ 長途ナカウラ 下役カクノ 長官ナカウラ 陰部カクノ 第一守カクノ

中^{ナカ}
央^ウ
途^{ミチ}
一^{イチ}
途^{ミチ}
一^{イチ}
庭^{ニハ}
長^{ナガ}
途^{ミチ}
一^{イチ}
流^{リウ}
水^{スイ}
長^{ナガ}
安^{ヤス}
そ^ソ
そ^ソ
の^ノ
鎮^{ジン}
西^{セイ}
廣^{コウ}
列^{レツ}

明卷之四

1. The first step in the process of creating a new product is to identify a market need. This involves conducting market research to understand the preferences and behaviors of potential customers. Once a need is identified, the next step is to develop a concept that addresses this need. This concept should be unique and offer a clear value proposition to the target market.

2. After developing a concept, the next step is to create a prototype. This allows the company to test the feasibility of the product and gather feedback from potential users. The prototype should be functional enough to demonstrate the core features of the product, but it does not need to be a fully finished version.

3. Once a prototype is created, the company can begin to refine the product. This involves making adjustments based on feedback and testing. The goal is to create a product that is not only functional but also appealing to the target market. This step may involve multiple iterations of design and testing.

4. After refining the product, the next step is to develop a marketing strategy. This involves identifying the target audience, choosing the right channels to reach them, and creating compelling messaging. A strong marketing strategy is essential for the success of a new product launch.

5. Finally, the product is launched into the market. This involves distributing the product to retailers or directly to customers. The company should closely monitor sales and customer feedback to ensure the product is meeting expectations and to make any necessary adjustments.

著 羅 縝 步 祭 宇 島 〃 禊 五條の装束

海鰒 ギョ 石鰒魚 鬼魁 竊對 倉靈 千草 トウモロコシ

辛丑四年 日本武尊...
庚午六十年 天皇...
三威勢天皇 六十一年

十...
三威勢天皇 六十一年

十...
三威勢天皇 六十一年

十...
三威勢天皇 六十一年

十...
三威勢天皇 六十一年

十...
三威勢天皇 六十一年

茅白賽...
荳...
荳...
荳...

荳...
荳...
荳...
荳...

荳...
荳...
荳...
荳...

荳...
荳...
荳...
荳...

荳...
荳...
荳...
荳...

荳...
荳...
荳...
荳...

丙子四年天皇民の老ふを憐れ
 澤敷と名をなす二年
 癸未十二年族同姓と號し郡侯
 陸戸公と名をなす二年
 辛亥廿九年三月略く萬葉と號す
 丁卯五十五年田道臣とて郡美と
 依りて田道利と名をなす二年

知者ちしや 己おのれ 緩ゆる 甚いた 々く 沈淪しんりん
一撥いちぱつ 一滿いちまん 陣法じんぽう 序列じりゃく

[illegible]

雞ナシ髮イダシ致仕イダシ塵芥アタリ一世ヨヒ下懷セウカ著述アガヒ

中疾ちゅうしつ 一折いちせつ 奏そう 一糸いちしつ 指さし 直凍ちくどう 一言いちごん 佇立ちゅうりつ 立派りっぺ 派はい

直^{ナカ} 談^{カヒ} 面會^{オモヘ} 疾視^{ハヤミ} 報^{ハク} 直^{ナカ} 諫^{サシ} 下^{シタ} 佇^{タツ} 立^{タチ} 踞^{カマ} 踞^{カマ}

専ララ
 蓄蓄
 責責
 カル
 名優大
 菊
 重半
 俊
 隅
 奇
 清南
 子
 余光
 地
 園
 友
 狂

[illegible]

ちやうふ丈々男と云俵おの堅固なる事。

儀と書く用儀備びやくら

ちやのみ象湯ちやのみ

今今ちやのみを弄

藤一儀藤一儀同

花花ちよつてまへちよひよりなぬ

祭祭同

祀祀ちよるの律代のも

嗜茶チヤ點茶テンチャ煮茶チュチャ煎茶センチャ蒸茗テイメイ熬力アウリキ努力ドフリキ頻約ヒンダク耽年タンネン

流瀾りゅうらん 奇蹟きせき 愕怍おどろおどろ 僕わが 渡わた 俗しやく 霜しも
キハナ キハナ キハナ キハナ キハナ キハナ キハナ

[illegible][illegible]

北きた
一安康天皇
三年
壬辰

元蕃帝弟二皇子^{仁德}偉穴^{いけ}根^ねと石上^{いそがみ}連穴^{つらぎ}根^ね。
甲午之年^{こうまのとし}初と石上^{いそがみ}連穴^{つらぎ}根^ね。
乙未^{いつみ}と号。四年天竺根侵^{てんじくこんしん}まの洗^{せん}。
と厚^{あつ}叔父大尊喬皇太子^{おほのみこと}被殺^{ころ}れ。
丙申三年大弟旁の子眉輪^{まゐり}輪^{りん}れ王^{わう}。
天皇と職と者云云。

元雄略天皇 在位
北三年
 允恭帝弟也皇子沸太其
 幼武王与皇兄女康帝之
 眉輪王を娶ふ即位は時市
 皇太子と云ふ事あり大納言子及萬葉
 表大原等連累のあつて殺す
 丁酉元年勃と殺さるる後凡
 壬子十六年迄是も善悪をわたり
 成年廿二年天照大神の御孫すみて
 丹波毛羽野に生れ母系は任氏
 皇女を神を修め奉る朝山田原
 任氏 今の芥文也内大臣なるう
百八十一一年後なり
 同年丹波毛羽野にわの浦嶋の子
 の中ふゆくと龜と傳ふる龜紀とて
 女より浦嶋と名付此女不蓮
 菰にあり後三百半餘年と傳ふるゆ
 已未廿三年今皇山明孝六十二
 北清寧天皇 在位
五年
 陸奥赤井王子淳仁親王武烈
 國押終日奈指ひて老くこと
 庚申元年勃と夷奪官を移し
 辛酉三年勃と勳齊を改め

綠水林泉	緑水林泉
一箇領國	一箇領國
一分隣郷	一分隣郷
一家旅館	一家旅館
一省藩居	一省藩居

陸地閭巷サトノミヤ柳巷ヤナギノミヤ琉球リュウキュウ增ゾウ乾門カンモン一毒イツドク琉沙リュウシャ雲ウン山サン一イツ流リュウ沙シャ雲ウン山サン一イツ流リュウ沙シャ雲ウン山サン

山 時 候
 黎 明 立 春 秋 分 良 辰 一 夜
 月 夜 一 夜 良 辰 一 夜

[illegible]

立像輪藏
 六甲祕咒
 柳營律師
 律師輪

蕃 ばん
番 ばん
吏 し
部 ぶ
倫 りん
良將 りやうしやう
里民 りみん

律僧旅客人出母也兩親者哲人律儀名老安漢柳

支體
 刺病痲疾
 留飲流產
 李夫人之妃
 劉備玄就樹大士之名
 支體
 刺病痲疾
 留飲流產

名 字
 龍造寺 服食
 糧食 良藥
 一 方
 靈供

綾羅錦繡綸子
 立紋素綢
 財器
 利刃
 錦

痛^ツ 寶^ツ 本^ツ 榘^ツ 砂^ツ 骨^ツ 床^ツ 頸^ツ の 涎^ツ 膏^ツ 頭^ツ 鰐^ツ 骨^ツ 頰^ツ 角^ツ
 補^ツ 條^ツ 消^ツ 後^ツ 龍^ツ 骨^ツ 車^ツ 族^ツ 輻^ツ 涉^ツ 頸^ツ 鰐^ツ 骨^ツ 頰^ツ 角^ツ

車炮

儀儀
端端
替替
洗洗
流儀流儀
異異
流流
留滯留滯
別別
力力

[illegible]

甲寅元年於乙卯金橋寺過辰
乙卯二年經律主上殿其樂助莊
莊拔律地計宅長氏

乙卯年六月
丁卯月
庚辰日
伏出

里漢
少玄
發子



夫の妻招浦小糸姫を

ね浦山
ふせう
のり



其後序

元
 宣化天皇
 四年

繼歟才二百子應食小庚金押頂者
丙辰元年^多起^多接^多廣人官不^多過^多尺
戊午二年^多古^多聖^多金^多聖^多山^多息^多務^多主^多接^多

況を舞まうか 或去はま精流たぬは角が鳥の
不にて候はるる如後の事
今蒙山の神と安閑天皇の神をさう
なうといふと其是邪をあらん
己未四年壬寅朔 書七十二

十三さんじゅうさん 欽明天皇きんめいてんわう
在位ざいゐ 廿二年にじゅうにねん

廣申元年移を大和の
磯城島の金刺宮小造凡

癸亥四年臘月巳朔三日
拔兵^{うちひ}ありし^と中^{ちゆう}ふく^{ふく}虎を
捕^{とら}ま^まり^り百^{ひやく}兩^{りやう}の人^{ひと}を^を捕^{とら}ま^まり^りし^と

壬申十三年百海王を傳傳經卷
奥書に獻代先と森然揃あはれ見み賜たまは
揃目あはれ之抄小向意もと建て安東あんち

日本初版のものが、
同年、常盤舟大連六振振と云ふ
康寅元年、應永天皇、その空

作しては八幡大神と崇あがめらる

量	カバ 量	量	量
量	キリ 量	凍	凍
凍	サエ 凍	然	然
然	サエ 然	風	風
風	又 風	一	一
一	サカ 一	隆	隆
隆	サカ 隆	盛	盛
盛	サカ 盛	唯	唯
唯	サカ 唯	池	池
池	サカ 池	園	園
園	サカ 園	巷	巷
巷	サカ 巷	洗	洗
洗	サカ 洗	滄	滄

羅く凡そいふべきの事
 臆々の侵夾引王名倫没淋瀝保家歷却
 りんあゝせんは事のつぎあるを一淹れ流割坐る狂唐症
 繡集。一次多訪言より一淹れ流割坐る狂唐症

奴又  乾坤
微星 瞻泥 濤拔 道匿 渥土 縁
微星 瞻泥 濤拔 道匿 渥土 縁

塗家 一重 貫柱 貫簀 塙 瀑布 調布 湯 沼津 田

時とき 候こう
 暖ぬく日ひ 寝ね夜よ
 祇ただ 神かみ
 額ぬか回くわい神かみ
 位ゐ 官くわん
 縫ぬい殿でん 後ご
 名な頭づかみ助すけ
 倫りん 人ひと
 主しゅ 主しゅ

奴僕ヌボク 一婢ヌヒ 塗師ヌシ 繡匠ヌシ 女メ 盜ヌス 賊ヌス 偷人ヌス 倭人ヌス

白波緑林 あしやう せうりやう せうりやう せうりやう
 増潜高人 めいけんこうじん
 板歯 いたば
 増賢 めいけん
 名 な
 新田 しんでん

[illegible][illegible][illegible]

繡箔 軟綉服緯 甚中 綉衣 圓塗 物

一 幕。 ねのまう
 白刃 ねのまう
 越身 ねのまう
 布目紙 ねのめがみ
 羅紋帝 ねのめがみ
 釋 ねのめがみ
 施索 ねのめがみ
 繼車 ねのめがみ
 漆板 ねのめがみ
 布機 ねのめがみ

一袋白刃
海賊國賊
本國
總領事
拉拔
老麻

嶺南の臣群臣の薦中より即任

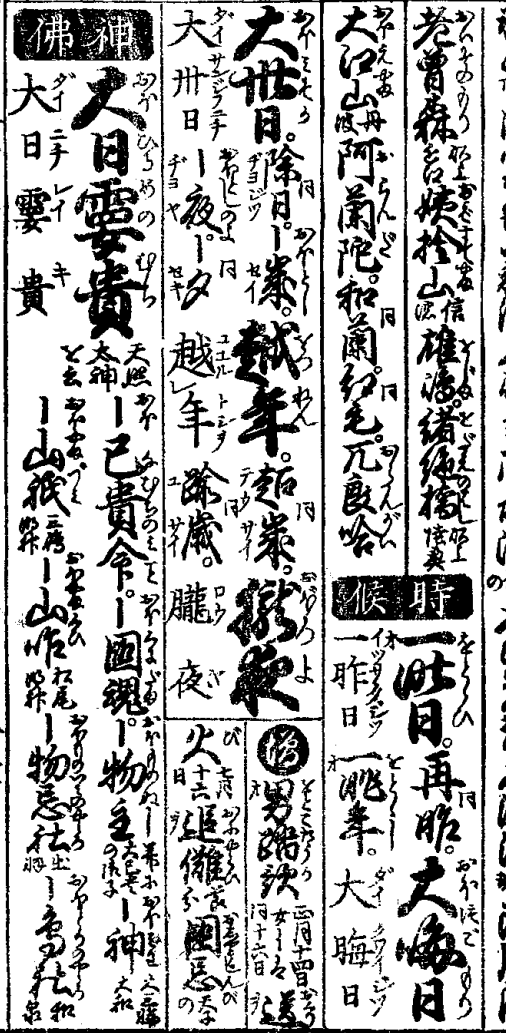
[illegible]

賤節用悉收文隨字

卷之四

月大風 吹風 大雨 雨 洪水 波大海 洋
巨海 浪 雲 大川 河流 沖澳 瀛 羣
眞瀾 深雪 大川 河湫 沖澳 瀛 岡 阜
丘 峯上 尾上 鼎 岬 大路 街 追分 路
陸路 溫泉 穿窬 窓 塋田 治國 公邑 遠近
一國 大櫓 檣 大内 鳳閣 溫明殿 鬼間 正屋
一方 大橋 柄杓 大内 内腹 津曹 見聞 軒間
奥座敷 一間 大床 巨床 一本戸 表門 裏門 追

て 倭敵 同 おふふ 同
手 大 旗 檻 様 落 間 一 縁 押 入 倭 同 押 入 同 旗 檣 木 折 戸
手 門 檻 欄 落 間 一 圍 押 入 裡 一 構 襲 木 折 戸
塔 口 覆 垂 籠 瓦 籠 燐 火 取 盧 壺 大 河 蝦
男 山 雄 德 山 雄 小 倉 山 監 中 栗 栖 野 大 原 登 江 川 荒 本 森 者



御側衆 侍臣 女工 女 御客 上客 師
 和尚 高徒 陸陽師 大通詞 長老 武者 兵 俠
 老 啞子 怨敵 霍百姓 納戸 富 伽藍 梵文 間 踊子
 偈婦 招標 強盜 追剝 行劫 賊骨 頸 主 罪人 犯人 大 忤
 癡漢 老 蒼毛 獸物 罵 烏 呼 者 殺 戲 者 饅 食 客 押 客 主 客 主 客 主 客
 匠 織工 高 富 農 巨 商 足 下 字 墓 大 友 墨 主 人
 大 匠 匠 房 務 人 一 一 子 里 上 小 野 堂 上 一 道 風 出 一 小 術 凡 河 内 躬 恒 人

[illegible][illegible][illegible]

船^{セン} 回^ド 荻^{オキ} 野^ヤ 生^{シヨ} 大^{タイ} 伴^{バン} 一^{イチ} 村^{ムラ} 堀^{ホリ} 爲^{ナリ} 須^ス 賀^カ 橋^{ハシ} 一^{イチ} 場^バ
 一^{イチ} 桑^{サウ} 老^{ロウ} 田^{テン} 大^{ダイ} 畝^ウ 新^{シン} 中^{チュウ} 一^{イチ} 回^{ヘイ} 踏^{トウ} 方^{ホウ} 尾^ビ 秋^{シュ} 一^{イチ} 時^ジ 候^{コウ} 飯^{ハン} 室^{シツ}

佛ハツ太田ハツ内ハツ岡部ハツ一ハツ傍ハツ村ハツ緒方ハツ尾ハツ形ハツ中ハツ鉄ハツ富ハツ


 正統十一年大赦より
 推恩うく傳く年号改まらず
 大赦より六月恭親王を薨
 御子納王を降皇子降授せられ
 御子中子王を降皇子降授せられ
 正統十一年大赦より
 正統十一年大赦より

一 持統天皇 在位 十年

天智天皇二年、女津宮(たつみや)に大野麿(おののみろ)を賜ひて
高皇太后武帝の皇子と爲す。其後、
を嫡子と爲し、孤獨老ふこと、即位せられ
たは、色づくる年三年を子鹿王の儀
即位の大礼を仍る。
丁亥元年、國忌齋を設く。
戊子三年三月朔、卯辰をうぐ。
己丑三年四月、室をさす事終焉。
庚寅四年二月、天皇即位天下に奉
敕を行ひ、畿内の人々若くは縁り分不
幸ゆへ年皇太子親王の号を賜ふ。
今傳ふ位階祿格、女史の略く
壬辰六年天皇御宇、母后幸於廣
宅相殿、親戚略く、幼少をばらる。
癸巳七年と云ふ須那小碓泉出
甲午八年、於廣宅和志宮更再遷居。

二 文武天皇

在位十一年

天武帝の孫恭王を北平王と號
たいていしんぎ 天眞宗を号す初名阿彌王と号
 丁酉元年八月尊諱曰月卿
 持統帝小太子天竺の弟と號す
 なるを太子を号の如し
 已亥三年楊娑野王と云ふの弟を

手形 印 壘 勸令印 折本 机 笈 笛 念
 手形 印 壘 勸令印 折本 机 笈 笛 念
 手形 印 壘 勸令印 折本 机 笈 笛 念

一、盒ハコ 罨ウツ 爬ハ 吠ヘイ 洩シロ 器キ 爰エ 九ク 桶ツク 皮ヒ 胴ドウ 絨ジュ 乙エツ 矢ヤ 害ガイ 決ケツ の 羈キ
 鞅ヤウ 鞣コウ 絡ラク 頭トウ の 麻マ 鞋セ 呼コ 索ソク の 織オリ 於オ 陶タウ 器キ 一イチ 盃ハヒ の 襪ハク 托タ 壓ヤ

花ハナ希スズカ希スズカ
面抱オモて和竿ワサダ坐イマス薙ヒゲ不創ユヅル薙ヒゲ輶車脚ヨウシャカク擲ナゲ

人々を安んずるを以て其の志を
 人々を安んずるを以て其の志を

帝妃皇女侍日本根子天津
學園咸姫首 文成帝の母

[illegible]

男松黒楓映山紅白楊板栗金唐小藤大竹

承宣令選廣人...
真備人...
若...
...



丁巳元年九月...
庚申四年八月...
...

聖武天皇
在位
...

聖武天皇...
...

常春藤...
...

雄黃...
...

義恩...
...

面...
...

凡...
...

凡...
...

凡...
...

凡...
...

凡...
...

凡...
...

凡...
...

丁丑の年、六好明は國分より成之
己卯の年、日玉分尾を立
庚辰十二年九月、成成嗣孫
繼と天降、東人紀飯麿、小立道の
爲に、我をこれより行ひ、十一月
廣嗣、繼子代を稱て、繼氏
同、年終を、小減恭仁、宮下連氏
甲申十六年、終を、難飯小延氏
同、年十一月、逃口國甲、如寺、森
て、大佛を、建帝、臨を、あり、乙年
八月、大佛を、平滅る、後氏
丙戌十八年、去、時佛を、蘇崇、り、又
た、氏廣嗣、を、聖靈、質、外、と、て
報とあり、と、天空、盛、座の、佛、を、來
戊子廿年四月、元、を、と、を、病、九年
四十
孝謙天皇 在位
十年
聖武天皇の皇女淳和、因親王
天平勝寶 已丑元年四月十四日
改元、三月、大佛、正行、基、殿、氏

孝謙天皇

十年

[illegible]

○奥州より略く今秋献す。七月
阿閉内親王受降。同月即位。聖
武天皇を太上天皇と号す。
壬辰四年四月九日東大寺の二佛
国眼供養。天皇を仍幸。
甲午六年唐の鑑真和尚来て
東大寺の戒壇を築く。
丙申八年四月聖武を太上と号す。
丁酉元年八月十八日
改元。二月宮中、夜、の承暦の
上、能く天下を平し。四字生れ。
○七月、後河蓋所、乃より天皇を食
百年の文字と、或は鏡を所を
よめく改元。同年三月、橘河見
薨。七月、美天皇を号して降す。
壬辰二年八月を天皇、聖武即位。

早
七 廢 帝

在位
六年

廢帝

在堡六年

天武事の孫會親王^{（孝）}第七子漢
大炊王^{（孝）}即位の故別は年号
と云はれず年号不志なる用
已巳三年^{（孝）}聖武^{（孝）}拾提寺と建
乙未^{（孝）}會親王^{（孝）}退老^{（孝）}て栗
道盡敵皇帝中^{（孝）}ち^{（孝）}を^{（孝）}成^{（孝）}

[illegible]

庚申十年中納まゝ延徳六年蓋
主妃古所失六伴真經安徳
安徳百餘王後増衣未おそ
唐等して奥列の美姫とすむ
大徳 辛酉元年正月朔日辰
三月十六日午時於麻度城門の
大徳おろす傳四月朔左左

奥羽の賊を討つ
甲戌十三年、やどの村の鬼ふ、やどの今、やどのの
安藏を討つ。同年、やどのを討つ。
若野、やどのを討つ。紀を討つ。

郎君 壯士 少年 冠者 童
 若輩 壯士 壯者 後生 童
 嬰兒 嬰兒 嬰兒 嬰兒 嬰兒

[illegible]

藝文類聚卷之四



甲申北三年、益原、葛野、廣石川、道益、菅原清之朝野麻取等、試遣唐使、以傍家池空海も求法の乃免、同部之入唐家院、天竺宋之優、至本年、廣空海、元小等、後、海。

桓武帝分(皇子)諸胤奉祀子
天排國高去音初名安啟親王
大同丙戌元年五月十八日改

元○三月十七日桓武帝崩壽七
○五月平城帝即位○八月宣海
王薨

丁亥二年 曾子休係親王義
系宗威子下人 係叔車

あられて親王其母者も唐よ
毒薬^{どやく}瓜^{うり}の^とて^に死^しに^て去^さる^るの兄大
納言^{だうごん}権友^{ごんとも}宗成^{そうせい}等^らも^も死^しに^て去^さる^る

戊子三年大同類聚方藏家。
送友出雲廣員子ねを既

[illegible]

在位八年

仁船帝弟百子帝道康後王
田村の帝と移人

仁壽 辛未元年四月廿日改元
癸酉二年惜翁珍入唐

齊衡 甲戌元年十一月廿改元



丙子三年、未歲、因去々々地處
豐壤、民盛多、檢戶。十月十八日、
檢中、所處の地、水氣多、果の
下々、數日、去々々順水、地處。

大正丁丑年二月廿日改元
四月を以て金相坂大石苑華木の

三國志卷之六 月對多國大北次
戊寅二年 考好陽朔。八月天宮

山朋 孝無
十月望孝子惟仁已位
五十 青 天宜 左位

文德帝第四子 肅 惟仁 煥 十八年

水氷尾の帝と称ん
 己卯元年四月十六日改元
 光武

○天監初，魏主高祖字云所
親大政，不居，悉良，廣接政，以

紅毛の船は、長崎の浦に上り、

實所贈子秦蘇（子蘇）秦索之八（八）藏之也男字移次

靈會之稱。不日。後紀成。

甲申六年八月為土山燒之
十餘日不氣一箇埋土中

丙戌八年七月條殿太后病膏

擗子ひめて
後のち
空くう壓やく
俗
塹えん
金井きんいど
用もち
械けい指さし
上かみ
登あが浦うら
委まか催もよほ
甲こう

掘手 門 空堀 井 金井 井 械 楯 上屋 鋪 窠

言橋コナハシ | 學校ガク | 寮ソウ | 情堂セイドウ | 座ザ | 瓦カ | 屋ヤ | 招マツル | 蓋フタ | 門カド

高樓學校書務講堂
一層瓦屋根一室
PE

[illegible]

系
上
園
考
東
方
佐
青
佐
下
骨
信
子

茶室圍廁司碓房壁合鑪格子

機噐斤底うしろ一ひと冠かん本ぽん鴨うも居ゐ藝ぎ役やく附つ

棧サン閣カク片ヘン庇ヒ一側イツセツ冠クワン木ボク衛エイ門モン鴨アツ居キヨ蟄バツ股コ櫛シ聲セイ

框カマ橘ダイダイ
 窠ソコ蚕サナ室シツ
 抱ダク所シヨ
 登ノボ傷ケ家カ
 一イチ宅タク
 便ベン

框檔 竈 蠶室 字 抱所為 借家 矮屋 便

どろろのくま
ついでに角豆坊主
2. 芝居
雷轟り申す

月モン 室マ 階キ 級キ 梯ヒ 角カク 柱チウ 葉エフ 度ド 校コウ 郷キョウ 佳キ 境キョウ 樂ガク 登トウ 截セツ 房フウ 上シヤウ

園クハ上カミ方カタ之ノ蕭シウ韓カン王ワウ唐タウ懷ワイ土ト之ノ那ナ震ジン旦ダン廣カン東トウ更ク趾チ東トウ甬ウ塞サイ。

上ル
かみ
神木忌^{カミキ}
森桂川^{モリケイガハ}
笠取^{カサトリ}
壺紙屋川^{ウツシヤノカハ}
密番之山^{ヒソバノヤマ}
姥家^{オバヤ}

神カミ南ミナミ嶺リ山ヤマ舊コ城シロ山ヤマ金カネ津ツ嶽タケ 金津嶽 文フミ燈トウ 文燈 津ツ路ロ山ヤマ 蒲ハス葉エフ 蒲葉 鐵テツ食シヤク

金沢（金沢） 神田（神田） 震（震） 関（関） 鏡（鏡） 唐橋（唐橋） 堅田（堅田） 海津（海津） 柏崎（柏崎） 柿崎（柿崎）

神戶 改年 春陽歌 上旬

改年くわいねん 隔夜くわくや 日上じつじやう
改年 隔夜 日上

寒暑 佳節 嘉辰 時
 彼雅 時 仲夏 月

上毎月艾節ハツグサ
神
水みづ
風津ふうしん
度たび
毫ごう

佛 神 祇 風 神 鬼 竈 神

用卷校對

1. *Chlorophyll a* and *Chlorophyll b* were determined using a spectrophotometer (Shimadzu UV-1601) at 663 nm and 646 nm, respectively. The concentration of chlorophyll was calculated using the following formula:

5

相度和者如得... 傳教大所亦不...

己丑十一年牛頭天王... 壬辰十四年...

辛陽成天皇 在位八年

清和帝... 丁酉二年... 己丑三年...

河津 國神 賀茂社 鴨社

春日 鹿島明神 降三世明王 龜龍

如梨毒女 伽藍 聖山 金佛洞

戒煙 官掃部 翰林學士 上達院

庚子四年... 佛堂...

同奉十二年... 癸卯七年...

甲辰八年... 乙巳九年...

光孝天皇 在位三年

仁明帝... 丁未三年...

十月... 十月...

司尚掃部 司尚膳典 侍從

家父 孝子 孝子

匹偶 孝人 孝人

樂人 倫監 寺坊

戒師 高祖 戒師

武武 剛將 降人

辛宇多天皇 在位十年

孝孝帝... 宇多天皇... 在位十年... 乙酉元年四月廿七日... 丙申四年八月... 丁巳九年七月...

癸丑五年... 甲寅六年... 乙卯七年... 丙申四年... 丁巳九年... 戊午十年... 己未十一年... 庚申十二年... 辛酉十三年... 壬子十四年...

刀劒工... 鍛冶... 鍛冶... 鍛冶... 鍛冶... 鍛冶... 鍛冶... 鍛冶... 鍛冶... 鍛冶...

樞取... 樞取... 樞取... 樞取... 樞取... 樞取... 樞取... 樞取... 樞取... 樞取...

雅人... 雅人... 雅人... 雅人... 雅人... 雅人... 雅人... 雅人... 雅人... 雅人...

容顏... 容顏... 容顏... 容顏... 容顏... 容顏... 容顏... 容顏... 容顏... 容顏...

眼目... 眼目... 眼目... 眼目... 眼目... 眼目... 眼目... 眼目... 眼目... 眼目...

手足... 手足... 手足... 手足... 手足... 手足... 手足... 手足... 手足... 手足...

痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺...

痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺...

痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺... 痲痺...

延長 癸未元年四月十日改元
 三月癸丑朔と中宮未後・流
 罪の宣告と流罪事
 丁亥五年 延喜式を上る。十
 三月系路公智佐之降と降人
 戊子六年 小智道胤を勅して漢
 朝の要人佐伯を流罪處の役を小
 寺の御年・賢重の降子ふ念と云
 己丑七年 十月 延喜格を上る
 庚寅八年 六月廿日 雷清涼殿
 夜・殿下法皇・平希世などと
 天皇・大炊連とて事・故・連・系
 九月廿二日 天皇位を以つて同月

魏明帝分土爲子傳寬明
養平 辛卯元年四月廿六日改元
是月十九日中大法皇崩
丙申六年歲次戊辰祿紀の
解人其々々々てそねき候

[illegible]

蒲生 神澤 一 海北
蒲生 神澤 一 海北
蒲生 神澤 一 海北

搗飯 餅と云俗に
からんちやう
秋実を煮た
字とて用ふ
希ふ服く
糟粕 酒を
のこすもの
滓 滓
寒 寒
晒粉 晒粉
干物 干物
物 物

煨餅ハキ 捲餅ハキ 捲餅ハキ 斤餅ハキ 番薯ハキ 之杞ハキ 醃菜ハキ 搗藥ハキ 和布ハキ 貝煨ハキ
 煨餅ハキ 干魷ハキ 魷節ハキ 一醬ハキ 一煮ハキ 芥子ハキ 侵羹ハキ 杞ハキ

汗衫かざり 女掛おんなかけ 巾ぬい 帷子いす 襦は 袢たね 原はら 肩衣かたぎぬ 上かみ 被衣かきぎぬ 袍ほろ 帽ぼうし 浴袍よくぽう

[illegible]

緋セウ 繒ソウ 羽ウ 票ヒョウ 綺キ 改カ 機キ 力リキ 綢チュウ 金キン 巾キン 布フ 鹿カ 子コ 絨ジュウ
 香カウ 深セン 合カウ 綴ズイ 緊キン 狂キヤウ 衫セン 襦ジュ 子コ 兩リウ 衣イ 係ヘイ 振シン 桌クワ 頭トウ 巾キン 揚ヤウ 布フ 浴ヨク 衣イ 是シ 深セン

皆練夏秋1年の起なり方なり 樺糸色 袴羽色 菅丈尾袴丈尾 袴袴 纏頭纏頭

